

なりたの教育

平成30年度



「タブレット端末を効果的に活用した授業実践 玉造小学校」(左上)

「小学校英語科におけるALTへのインタビュー活動 加良部小学校」(右上)

「順天堂大学の学生と一緒にフラッグ作り 豊住小学校(放課後子ども教室)」(左下)

「地域のボランティアによる学習支援(切り絵) 久住中学校(学校支援地域本部)」(右下)

成田市教育委員会

成田市民憲章

昭和46年11月3日制定

信仰のまち、世界に通ずるまち成田はわたくしたちのふるさとです。
ゆたかな自然と文化にめぐまれてきたわたくしたち成田市民は、大きな希望と誇りをもって世界に伸びようとしています。

わたくしたちは、成田のかがやかしい発展とおたがいのしあわせを
ねがい、この市民憲章をさだめます。

- 1 親切な心で
平和な成田をつくりましょう。
- 1 よろこんで働き
豊かな成田をつくりましょう。
- 1 きまりをまもり
住みよい成田をつくりましょう。
- 1 自然と文化を大切に
美しい成田をつくりましょう。
- 1 若い力をそだて
明るい成田をつくりましょう。

成田市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱

成田市教育大綱

成田市教育大綱は、本市の教育に関する基本的な方針として策定したものであり、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力となるため、さらには生涯を通して市民一人一人の能力や意欲を伸ばし、明るく、心豊かで、生涯を通じて学ぶことができるまちづくりを目指し、本市の教育の振興に関する施策の「大綱」として策定したものです。

平成28年6月策定

成田市長 小泉一成

基本理念

育てよう 心とからだ 学び合い みんなで築く 成田の未来

成田の教育において、未来を担う子どもたちの知識や技能の習得、さらには人として大切な心を育み、健康で明るい人づくりを目指します。また、市民一人一人の能力や意欲を伸ばし、夢を実現できる生涯学習の形成と成田の歴史・文化を次代に継承し、世界に誇れる「成田の未来」をみんなで作くり上げ、成田を愛する心を育みます。

基本目標

- (1) 社会を生き抜く力を育む
- (2) 伝統・文化の理解と国際性を育む
- (3) 豊かな心・道徳性・規範意識を育む
- (4) よりよい学校教育環境づくりを進める
- (5) 様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する
- (6) 社会の変化に対応した教育を推進する
- (7) 生涯を通じた学習やスポーツに親しむ環境を推進する

はじめに

成田市教育委員会
教育長 関川 義雄

次期学習指導要領の完全実施に向け、本年度は小学校で「特別の教科 道徳」がスタートしました。道徳の授業では、これまで培ってきた指導技術の更なる質的向上を目指すとともに、道徳授業における児童生徒の学習状況や道徳性にかかる成長の様子を文章で記述する評価を実施することとしております。本市教育委員会では、本年度も道徳教育推進教師を対象にした研修のほか、各学校の要請に基づく研修や教員経験の浅い教員への指導主事・教職員相互実践研修等において、教職員個々の指導力向上を目指してまいります。一方で、教職員の多忙化が大きな社会問題となっている現在、次期小学校学習指導要領の完全実施の際には、授業時間の増加とともに、教材研究にかかる時間も増加し、教職員の時間外勤務の状況はますます深刻化するのではないかと懸念があります。そこで、本年度は各学校において、校務支援システムの効果的な運用を図り、事務の効率化を目指すとともに、市内全校にタイムレコーダーを設置し、教職員個々の勤務実態を客観的に把握することによって、一人一人がより効果的な業務運営を行っていただけるよう学校を支援してまいります。

このほか、ALTや学校図書館司書を全校に配置するほか、学校の実情に応じて、学校サポート教員や健康推進教員、特別支援教育支援員、教育相談員、養護補助員、日本語教育補助員等々、多くの市費負担教職員を配置し、個に応じた、きめ細かな指導が行えるよう教育環境の整備に努めるとともに、教育センターや教育支援センターの機能を生かし、困り感のある児童生徒への支援を続けてまいります。

また、年齢を問わず、生涯を通じて学びたいときに学べる教育環境の整備を目指し、本年度も明治大学・成田社会人大学や、成田市生涯大学院を開設いたしました。ここでは、学ぶ楽しさを感じ、学びを通して出会う人々との仲間づくり等も期待できる場であることから、今後も更なる発展を目指して取り組んでまいります。このほか、市内高等学校等のご協力を得て高等学校等開放講座を引き続き実施するとともに、関係団体との連携により、家庭教育や子育て支援に役立つ講座や講演会を開催したりするなど、多様な取り組みを行ってまいります。

さらに、図書館や公民館では、市民の皆様のニーズに応え、自主的な学びを支え、生活に潤いを与えられるよう、施設設備の充実を図るなど、利用者の立場に立った運営に努めてまいります。

目 次

成田市の概要	1
1 沿 革	1
2 位置・面積	1
3 人口・世帯数	1
教育委員会の概要	2
1 教育委員会	2
2 教育長・教育委員	2
3 事務局の組織・事務分掌・職員数	3
4 教育費	4
(1) 平成30年度の一般会計予算と教育費	4
(2) 平成19年度以降の一般会計決算総額に占める教育費の割合	4
(3) 平成30年度教育費の各種内訳	5
5 平成30年度教育委員会の主要事業	6
学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進	6
(1) 小中連携・一貫教育の推進	6
(2) 確かな学力と豊かな心の育成	7
(3) 国際理解教育・英語教育の充実	9
(4) 生徒指導・教育相談の充実	9
(5) 読書指導・学校図書館の充実	10
(6) 統合型校務支援システム	10
(7) 学校施設整備事業	11
生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進	12
(1) 明治大学・成田社会人大学	12
(2) 生涯大学院	13
(3) 公民館セカンドライフ支援セミナー	13
(4) 家庭教育学級	13
(5) 放課後子ども教室	14
(6) 子どもの読書活動の推進	14
学校教育	15
1 施策の概要	15
(1) 教職員の資質向上	15
(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）	15
(3) 特別支援教育の推進	15
(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実	16
(5) 学校体育の充実	16
(6) 安全教育の推進	16
(7) 情報教育の推進	17
(8) 学校評議員制度の活用	17
(9) 学校施設の管理と整備	17
(10) 学校問題解決支援事業	18
(11) 学校支援地域本部事業	18

2	教育センター	19
	(1) 学校支援の推進	19
	(2) 特別支援教育の推進	19
	(3) 教育相談	19
	(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付	19
	(5) 情報教育の推進	20
3	教育支援センター	20
4	各学校・幼稚園の特色	21
5	学校給食センター	39
	(1) 食に関する指導の充実	39
	(2) 献立の充実	39
	(3) 衛生管理の推進	39
	(4) 食材の放射能対策	40
	(5) 地域との連携	41
	(6) 給食施設の整備	41
	生涯学習	42
1	施策の概要	42
	(1) 生涯学習の推進	42
	(2) 家庭教育の充実	43
	(3) 成人教育の充実	43
	(4) 青少年教育の充実	43
	(5) 社会教育関係団体活動の支援	45
	(6) 文化財の保護	45
	(7) 平成30年度 生涯学習課事業計画	47
2	公民館	49
	(1) 魅力ある公民館活動の推進	49
	(2) サークルの育成・活用の推進	49
	(3) 公民館ボランティア推進事業	49
	(4) こども体験学習セミナー	49
	(5) 広報活動の充実	49
	(6) 平成30年度 公民館主催教室・講座計画	50
3	図書館	51
	(1) 図書館サービスの充実	51
	(2) 子どもの読書活動の推進	51
	(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス	52
	(4) 障がい者サービス	53
	(5) 平成30年度 図書館事業計画	53
4	視聴覚サービスセンター	54
	(1) 視聴覚教材・機材の整備充実と効果的な活用	54
	(2) 広報活動の充実と利用の促進	54
	(3) 平成30年度 視聴覚サービスセンター事業計画	54
	資料編	55
	成田市教育略年表	55
	歴代教育長及び教育委員	58

市立学校の児童生徒数の推移	58
市立学校・幼稚園一覧	59
社会教育施設一覧	60
学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧	61
市内指定文化財等一覧	62
平成29年度 公民館利用状況	65
平成29年度 図書館資料点数及び利用状況	66
市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園	67

成田市の概要

1 沿革

成田市は昭和29年に、町村合併促進法に基づき、成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の1町6村が合併して誕生しました。そして、平成18年3月に下総町、大栄町との合併により新しい成田市が誕生しています。

全国屈指の霊場成田山新勝寺と、宗吾霊堂を中心に門前町として古くから栄え、また、水と緑に恵まれた本市は、約3万年前から人々が生活を始めていたことが知られています。

今、成田市は、霊場と田園が醸し出す「静」と、近代文明の粋を集めた空港が持つ「動」の2つを兼ね備えた特色ある都市として、着実な歩みを続けています。

2 位置・面積

成田市は、千葉県の北部中央に位置し、北は利根川、西は印旛沼に接し、東南は広大な北総大地が続いています。

面積は、213.84km²です。



3 人口・世帯数

人口は、男性 66,850 人、女性 66,448 人、合計 133,298 人で、62,157 世帯となっています。

(平成30年4月末現在)

教育委員会の概要

1 教育委員会

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方教育行政を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された執行機関です。

また、平成27年4月1日から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置や、教育委員による教育長へのチェック機能の強化などの改革が行われました。そのほか、新たに市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行い、市の教育政策の方向性を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、総合教育会議が設置されています。

教育委員会は、教育長と4名の委員により組織されており、いずれも市長が市議会の同意を得て任命しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。平成27年4月1日から平成31年3月31日までの間に任命される委員の任期は、特例として、1年以上4年以内で定めることができます。

教育長は、教育委員会の会務を総理し（「教育委員会の会議を主宰する」、「教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどる」、「事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督する」）、教育委員会を代表します。

また、教育委員は、教育長に対するチェック機能を果たすため、会議の招集や教育長が委任された事務の管理・執行状況の報告を求めることができます。

教育委員会会議は原則として毎月1回開き、必要に応じて臨時会を開催しています。

2 教育長・教育委員



教育長
関川 義雄



教育長職務代理者
小川 新太郎



委員
高木 久美子



委員
佐藤 勲



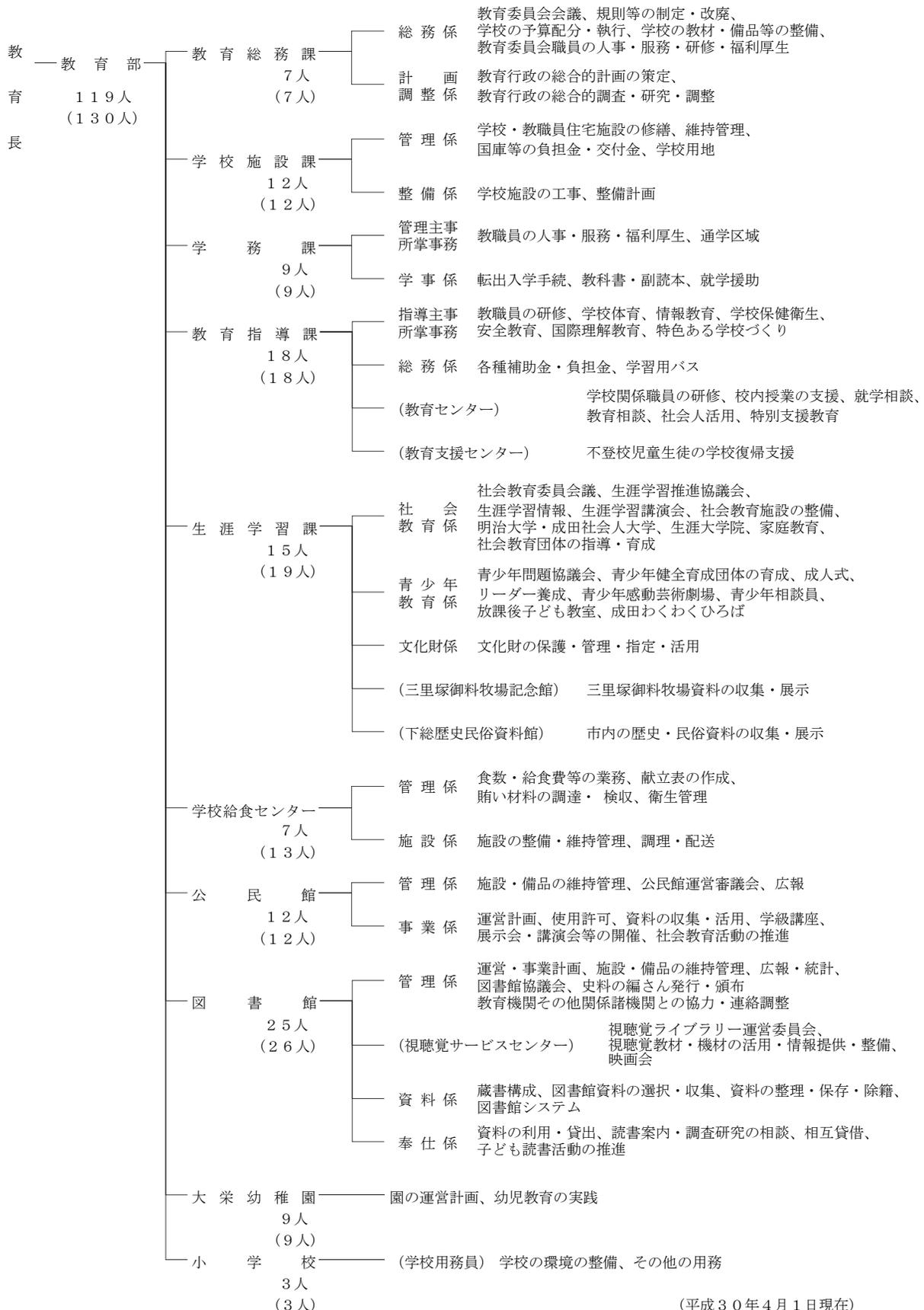
委員
片岡 佳苗

役職名	氏名	教育長・委員就任日	教育長・委員の任期
教育長	関川 義雄	H25. 4. 1	H30. 10. 1 ~ H33. 9. 30
教育長職務代理者	小川 新太郎	H23. 6. 18	H28. 10. 1 ~ H31. 9. 30
委員	高木 久美子	H24. 10. 1	H28. 10. 1 ~ H32. 9. 30
委員	佐藤 勲	H26. 10. 1	H30. 10. 1 ~ H34. 9. 30
委員	片岡 佳苗	H29. 10. 1	H29. 10. 1 ~ H33. 9. 30

(平成30年10月1日現在)

3 事務局の組織・事務分掌・職員数

事務局は、教育委員会の所掌に係る事務を遂行するため、教育委員会におかれています。



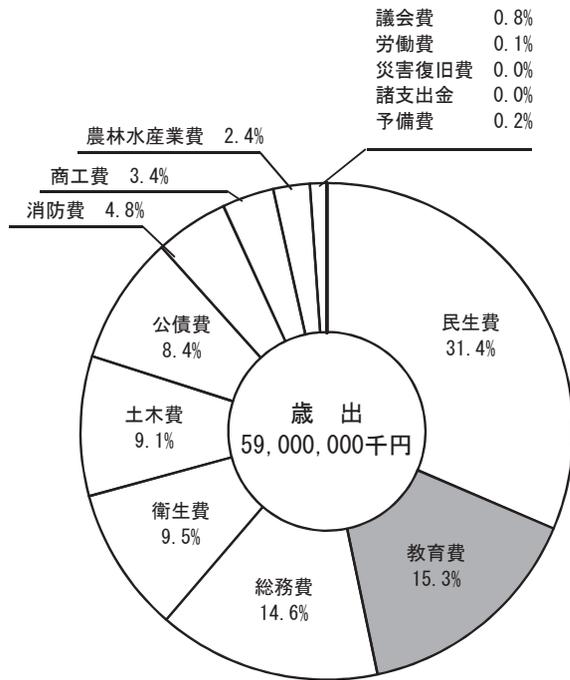
(平成30年4月1日現在)

※括弧内の人数は、再任用職員または再任用短時間勤務職員を含む数

4 教育費

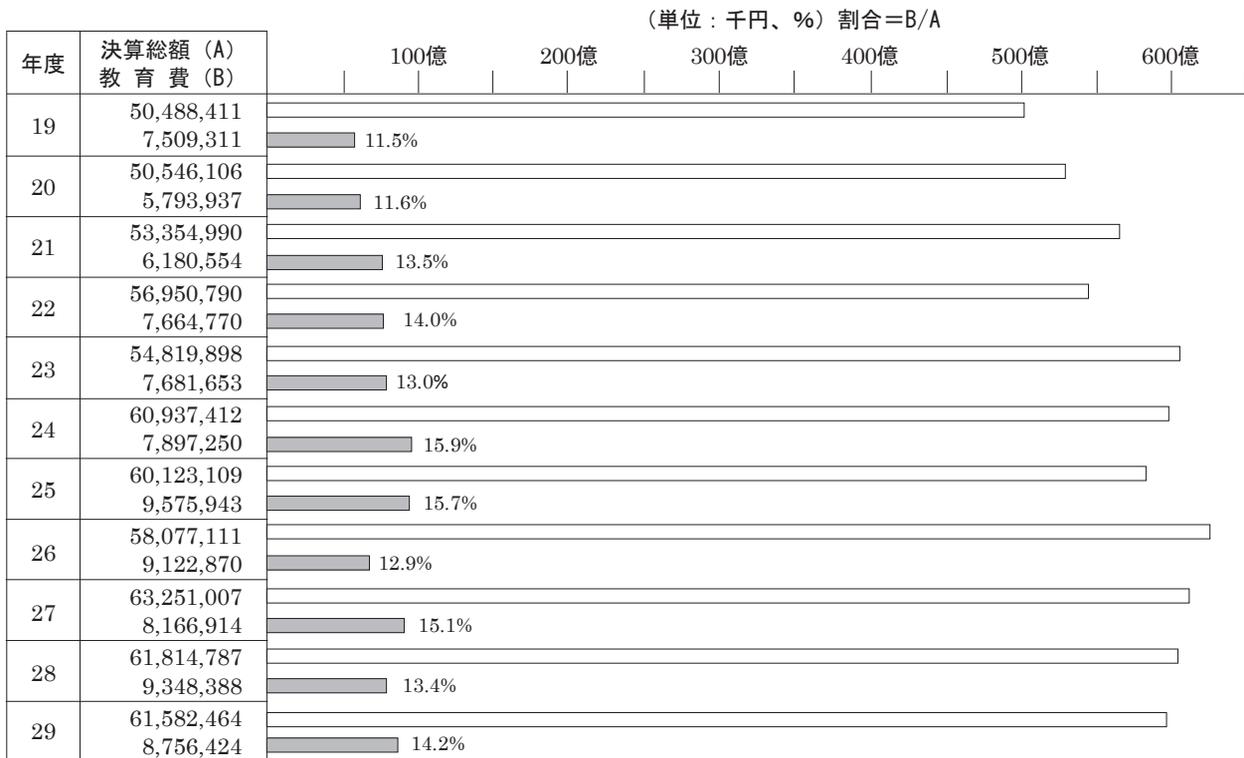
平成30年度当初予算

(1) 平成30年度の一般会計予算と教育費

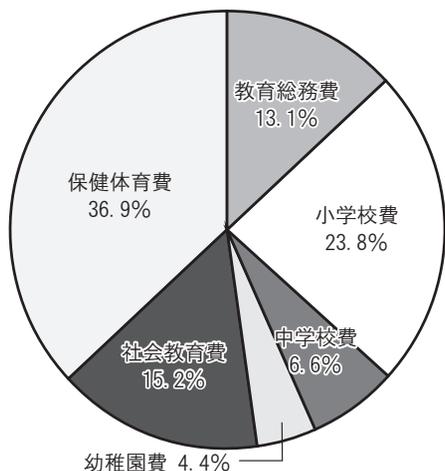


	予算額	比率
議会費	436,755千円	0.8%
総務費	8,616,952	14.6
民生費	18,538,162	31.4
衛生費	5,618,946	9.5
労働費	49,533	0.1
農林水産業費	1,425,205	2.4
商工費	1,995,637	3.4
土木費	5,386,352	9.1
消防費	2,844,771	4.8
教育費	9,028,101	15.3
災害復旧費	2,000	0.0
公債費	4,957,585	8.4
諸支出金	1	0.0
予備費	100,000	0.2
合計	59,000,000	100.0

(2) 平成19年度以降の一般会計決算総額に占める教育費の割合

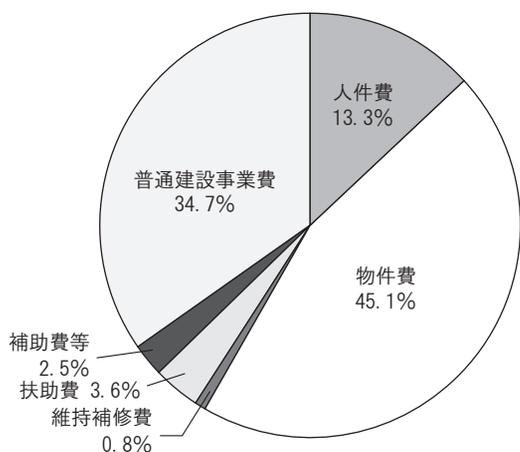


(3) 平成30年度教育費の各種内訳



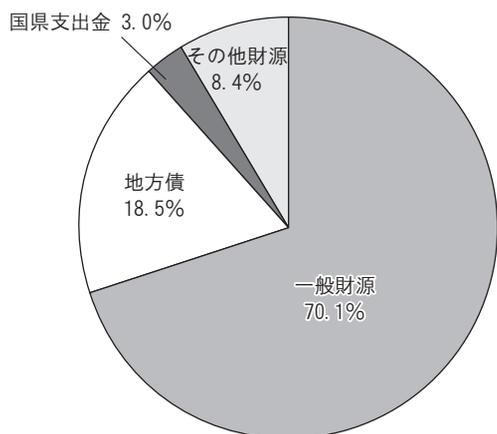
項別内訳

	予 算 額	比 率
教育総務費	1,187,583千円	13.1%
小学校費	2,145,596	23.8
中学校費	596,616	6.6
幼稚園費	399,455	4.4
社会教育費	1,371,254	15.2
保健体育費	3,327,597	36.9
合 計	9,028,101	100.0



性質別内訳

	予 算 額	比 率
人 件 費	1,205,516千円	13.3%
物 件 費	4,067,966	45.1
維持補修費	68,563	0.8
扶 助 費	322,888	3.6
補 助 費 等	229,980	2.5
普通建設事業費	3,133,036	34.7
積 立 金	152	0.0
投資及び出資金	0	0.0
繰 出 金	0	0.0
合 計	9,028,101	100.0



財源内訳

	予 算 額	比 率
一 般 財 源	6,330,329千円	70.1%
地 方 債	1,668,700	18.5
国県支出金	268,895	3.0
そ の 他 財 源	760,177	8.4
合 計	9,028,101	100.0

5 平成30年度教育委員会の主要事業

学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進

今日、少子高齢化の進行や高度情報化、グローバル化の進展などの社会情勢の大きな変化に伴い、教育を取り巻く状況においても、学力向上、道德教育の充実、いじめや不登校の防止、教員の資質の向上や幼児教育の充実、家庭教育への支援、情報化への対応など、多くの課題があります。

本市ではこれまで、「成田市学校教育長期ビジョン」（平成13年度～平成27年度）のもとに、子どもたちの確かな学力や豊かな心など「生きる力」の育成を目指して、国際理解教育、英語教育、特別支援教育、情報教育、職業観を育むためのキャリア教育などに取り組むなど、特色ある教育を推進してきました。

これらの成果を受け継ぐとともに、現代の急激な社会情勢の変化に柔軟に対応し、夢の実現に向けてたくましく生きる子どもたちの育成を目指して、学校・家庭・地域社会が連携して、それぞれの学校や地域で創意工夫し、特色ある教育を推進していくための指針として、平成28年3月に、成田市学校教育振興基本計画「輝くみらいNARITA教育プラン」を策定しました。

これは、教育基本法第17条第2項に基づく「成田市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画（教育振興基本計画）」として策定したもので、本市の学校教育の現状と課題を踏まえ、策定後10年間（平成28年度～平成37年度）に、本市が目指す学校教育のあり方について基本的な方向性を示したものです。

この計画では、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力を育むため、「子どもの多様な個性 能力を伸ばし 未来をひらく力を育む」を基本理念に定め、社会が大きく変化する中で、子どもたちが将来、自立した個人として未来を切り拓き、豊かな人生を送ることができるよう、個々の多様な特性や能力を生かした教育を推進します。

この基本理念の実現を目指し、次の6つの基本目標をもとに、各施策の推進を図ります。

- 第一に、社会を生き抜く力を育む。
- 第二に、伝統・文化の理解と国際性を育む。
- 第三に、豊かな心・道德性・規範意識を育む。
- 第四に、よりよい学校教育環境づくりを進める。
- 第五に、様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する。
- 第六に、社会の変化に対応した教育を推進する。

(1) 小中連携・一貫教育の推進

小中連携教育とは、義務教育9年間において目指す児童生徒像を小中学校教職員が共有し、一人一人の子どもたちの成長に一層目を向けた一貫性のある指導を展開し、「生きる力」を育む教育の質的な向上を目指すことを目的とした教育です。本市においては、平成9年度から生徒指導の充実を目的として、中学校区で定期的に情報交換を図ることから始まり、平成19年度からは小中学校で共

通の学習のきまりや生活のきまりを設定し、共通した指導で児童生徒を育てたり、行事等で児童生徒間の交流を図ったりするなど、中学校区の特色を生かした効果的な連携教育を推進してきました。

学校適正配置の取組による学校の新設、統廃合が進む中で、平成25年度はニュータウン地区の一部が学区を再編し、中学校区が変わりました。改めて将来を見据えた小中連携教育を以下の内容で計画的、継続的に実践していきます。

- ① 中学校区で目指す児童生徒像を設定し、小中連携教育を推進します。
- ② 中学校区校長会議を定期的実施し、学区内の実態把握、情報交換を図ります。
- ③ 生徒指導担当者会議を定期的開催し、生徒指導の充実を図ります。
- ④ 中学校区教職員の相互研修による授業公開を促進し、学習指導の共通理解を図ります。
- ⑤ 児童生徒が交流する行事や活動を設け、児童生徒間の相互理解を図ります。
- ⑥ 小中連携教育の実態を地域に発信し、地域、保護者の理解を深めていきます。

この小中連携教育をさらに進めた教育方法として、小中一貫教育があります。本市においては、9年間で途切れることのない一貫した教育課程による教育を小中一貫教育ととらえています。

平成26年4月に開校した下総小学校は、下総中学校との一貫教育を開始し、小学生と中学生が一つの施設で学ぶ施設一体型の小中一貫校としての実践を積み重ねてきました。その後、学校教育法の一部を改正する法律が平成28年4月1日に施行され、これまでの小学校、中学校に加え、義務教育学校が新たな校種として位置づけられました。市ではこのことを受けて、成田市立下総小学校と成田市立下総中学校を、施設一体型小中一貫校である義務教育学校「成田市立下総みどり学園」として、平成29年4月1日より新たに設置しました。修業年限は9年間とし、学年区分は前期（1～4学年）、中期（5～7学年）、後期（8・9学年）の3区分とし、5学年から教科担任制による授業を行うとともに、児童生徒の交流授業、共通行事を実施しています。

このような小中一貫教育を展開することは、義務教育9年間を見通し、学校種を超えた教育活動を一層進めることとなります。教職員においては、小学校籍や中学校籍という壁がなくなり、免許を有していれば、1年生から9年生までの学級担任を持つことが可能となります。中期学年における連続した指導が可能となることで、中学校入学時の不安や心理的格差の解消を図るとともに、小中学校の教員が相互に指導に関わり、よりきめ細かい指導と専門性を生かした指導をすること、また児童生徒の交流により、よりよい人間関係の形成が目指せるものと考えています。

今後は、下総みどり学園の教育活動の成果を積極的に小中連携教育に取り入れ、中学校区で特色ある学校づくりを進めていきます。

また、小中連携を充実させるために、市内全ての学校で、義務教育9年間で子どもを育てるという視点で教育活動が展開できるよう、教職員の意識改革に取り組んでいきます。

(2) 確かな学力と豊かな心の育成

子どもたちに基礎・基本を確実に身に付けさせ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決するなどの「確かな学力」の定着、一層の向上を図るために、少人数指導・習熟度別指導など、個に応じたきめ細かい指導を積極的に推進するとともに、

体験的な学習活動を通じ、子どもたちが相互にかかわり合い、学ぶ楽しさを実感できる学校づくりを進めます。

また、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」を育むために、道徳教育の充実、学校・家庭・地域が連携した体験活動の機会や情報の提供、読書活動の充実など積極的に支援します。

そのために、教職員の指導力向上を目指した研修会支援や、市教育委員会主催各種研修会の充実に努めています。

さらに、平成28年度から指導用デジタル教科書を市内全学校に配置することにより、授業の質の改善が図られるとともに、教職員にとっては授業準備の負担が軽減され、児童生徒と向き合う時間の確保につながっています。

市内の学校には、学校サポート教員及び養護教諭の資格をもつ健康推進教員を配置し、これまでに以上に学力の向上を目指した少人数学習を中心とした指導方法の工夫改善に努めるとともに、教育相談・生徒指導面におけるきめ細かな指導体制を強化し、児童生徒一人一人のニーズや個性に応じた教育の一層の実現に努めます。本年度は学校サポート教員を37名、健康推進教員を12名、合わせて49名の配置を行います。

本務教員と学校サポート教員が連携してティーム・ティーチングや学級・学年を分割して授業を行うことにより、習熟度別・課題別学習を実施し、児童生徒の実態等に応じて発展的な学習や補充的な学習などを実施することが可能になります。また、総合的な学習の時間における問題解決学習や様々な体験的学習を行う上でも人的な支援・援助ができるため、より充実した児童生徒の活動を展開することができます。このような授業方法を工夫改善することにより「楽しい授業・わかる授業」を実現し、より個に応じた指導の充実を図るとともに、基礎学力の定着を図るものです。

また、健康推進教員の配置により児童生徒の心身のさらなるケアに努めています。様々な悩みを抱えて生活している児童生徒に対し、「心の居場所」としての保健室の機能をより高めるため児童生徒数の多い学校を中心に配置し、心身両面からの支援を行っています。

さらに、平成20年度からは、複式学級を生じる小学校に小規模学校支援教員を配置しており、本年度は2校に2名配置しています。これにより、複数学年を1人の担任が受け持つ複式学級においても学年別に分かれて学習活動を行っています。



学校サポート教員の配置



健康推進教員の配置

(3) 国際理解教育・英語教育の充実

国際空港都市成田の将来を担う児童生徒に、日本人としての自覚を持ち、異文化理解などの国際性や、英語によるコミュニケーション能力を育むために、全国でも先進的に取り組んできた国際理解教育・英語教育の一層の充実を図ります。

平成15年度から内閣府の構造改革特区制度を活用して取り組んできた「国際教育推進特区」は、平成20年度から文部科学省の「教育課程特例校」として継続しています。

これにより全国では3年生から開始される外国語活動を、市内の全小学校及び義務教育学校前期課程では1年生から開始し、1～4年生で20分を週2回、5・6年生で20分を週2回と45分を週1回の英語科授業を実施しています。全中学校及び義務教育学校後期課程では年間標準時数140時間の英語科授業を1年生155時間、2・3年生158時間に増やして実施しています。

外国人英語講師（ALT）を各学校に配置し、小学校及び義務教育学校前期課程では市が独自に作成している「小学校英語科標準年間指導計画」をもとに、全ての英語科授業で日本人教師とALTとのチーム・ティーチングによる指導を行っています。中学校及び義務教育学校後期課程においても、ALTを各学校に配置し、英語科授業や学校生活全般を通して、英語に触れる機会を多く設けています。さらに、英語指導助手によるALTの指導を行い、英語科授業のレベルアップを図っています。

また、英語教育に関する検討委員会を開催し、本市の英語教育の方向性を検討するとともに、市で独自に作成している「小学校年間指導計画」及び「中学校拡充英語指導案」の見直しを毎年行うとともに、英語科授業や様々な教育活動を通して、国際理解教育・英語教育を推進します。

これまでの本市の英語教育の成果や課題を明らかにするための手立ての一つとして、平成26年度から成人式の参加者を対象に「小・中学校の英語学習」に関する調査を行っています。

全校にALTを配置していることについて聞いた「英語の授業にALTがいてよかったですか。」という問いには、97%が「はい」と回答しました。小中学校で学んだ英語の有用性について聞いた「小学校・中学校で勉強した英語は、今役立っていますか。」の問いには、77%が「はい」と回答しました。「街中で外国人に話しかけられた時に受け答えができた。」「仕事（アルバイト）で役立っている。」「英語の楽しさを感じられた。」「音として英語を身近に感じられた。」などが多く寄せられ、「今後も英語を学んでみたい。」と考えている人も全体の8割を越えました。

この調査は本年度も継続し、本市の英語教育の方向性の検討に活用していきます。



外国人英語講師の配置

(4) 生徒指導・教育相談の充実

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助を行います。単なる問題行動への対応という消極的な面にとどまることなく、問題行動を生み出さない積極的な生徒指導を推進します。

そのために、生徒指導の基本である人間関係の構築を基本に、生徒指導の機能を生かした、生徒が自己存在感、達成感、成就感を感じる、わかる授業づくり、誰もが安心感を得られる学級経営に努めます。

暴力行為、いじめ、携帯電話等に関わるトラブル、不登校、児童生徒の問題行動等については、原因や背景は個々の事例により様々であり、学校・家庭・地域社会それぞれの要因が複雑に絡み合っ

て発生しているのが現状です。いじめについては、学校いじめ防止基本方針に基づく対応並びに本市いじめ問題対応マニュアルの活用を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めます。

また、指導主事が積極的に学校を訪問し、問題解決に向けた支援や対応をとともに考えていくとともに、生徒指導主事（主任）研修会の充実を図ります。「中学校区小中生徒指導連絡会」を実施し、小中学校間の連携の充実を図るとともに、庁内関係課、児童相談所、北総地区少年センター、警察等の関係機関との連携をより一層強化します。

不登校対策としては、教育センターに臨床心理士の資格を有するカウンセラー2名を配置しており、うち1名は市内の児童生徒・保護者及び教職員を対象に教育相談を行い、児童生徒が抱える様々な悩みや不安の軽減・解消を図ります。もう1名は、教育支援センター「成田市ふれあいるーむ21」に通う児童生徒とその保護者を対象に教育相談を行い、学校復帰を支援します。

さらに、市内12校の拠点小学校に教育相談員を配置し、近隣の小学校に在籍している児童・保護者を対象とした教育相談活動を実施し、各中学校及び成田小学校、本城小学校、公津の杜小学校、下総みどり学園に配置されているスクールカウンセラーとともに保護者や子どもたちの様々な悩みや不安に対応していきます。

また、家庭から出られない児童生徒の支援のために、巡回指導員を配置して家庭訪問等の支援を行います。

(5) 読書指導・学校図書館の充実

学校図書館は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするなど、子どもの読書活動を推進する場であるとともに、「総合的な学習の時間」や各教科の中で課題学習や調べ学習など児童生徒の主体的・意欲的な学習活動を展開していく場として、学校の教育活動において重要な役割を持っています。

学校図書館のこうした機能の充実のために、学校図書館司書を配置し、レファレンスサービス（参考資料や情報の提供業務）を提供するとともに、図書購入、蔵書のデータベース化など様々な環境整備の充実に取り組んでいます。

本年度は引き続き市独自の学校図書館司書を25名雇用し、全ての学校に学校図書館司書を週2日以上配置します。子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりに向け、学校図書館司書と司書教諭や市立図書館との連携をより一層強化し、学校図書館の活用の充実を図ります。

(6) 統合型校務支援システム

統合型校務支援システムは、学籍や出席簿の管理、通知表作成などの成績処理、指導要録や調査書の作成、健康診断などの保健に関する機能を持つもので、本年度から本格稼働しました。

このシステムの導入により、教職員が子どもたちの記録を蓄積・共有・活用することができ、情報を一元管理することで、校務を効率的に進めることができます。また、各機能間で情報が連携されるため、帳票間での転記の手間やミスを削減することができ、教職員の負担を軽減することができます。

(7) 学校施設整備事業

大栄地区小学校5校の統合(※)とともに、中学校との一体型校舎の建設を平成33年度の開校を目標に昨年度から整備を進めています。

本年度は昨年度に続きグラウンドの整備を行うとともに、体育倉庫などの付属棟を建築し、校舎建設予定地の造成工事に着手します。

また、本城小学校学区内において、児童数の増加により教室不足が見込まれることから、本城小学校増築工事を行います。



大栄地区小中一体型校舎(完成イメージ図)

経年により老朽化した学校施設について、教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため、橋賀台小学校東棟校舎の大規模改造工事を行うほか、バリアフリー整備事業として神宮寺小学校に児童用エレベーターの新設、さらに維持整備事業として昨年度に続き、中学校のトイレの洋式化など、近年の生活様式に対応した改造工事や変化する教育現場にふさわしい施設整備を実施します。

※大栄地区では、当初5校(大須賀小学校、桜田小学校、前林小学校、津富浦小学校、川上小学校)を新設校2校に統合する予定でしたが、大栄地区の児童数が当初の推計と比較して減少傾向にあることや大栄地区の住民の方々の意向を考慮し、新設校1校に統合するように計画を変更し、平成25年8月には大栄地区区長会から教育委員会の統合案を受け入れる旨の回答書が提出されました。

現在、統合に向けて、地元の方や大栄地区の学校の教員等を委員とした「大栄地区小中一貫教育準備委員会」を立ち上げ、また、委員会の中に5つの部会を設け、様々な検討課題について協議しているところです。

平成28年度には、校名が「大栄みらい学園」に決定しました。なお、この校名は議会の議決を経てから正式名称となることから、議会の承認を得るまでは仮称として使用します。

生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進

国際化や情報化が進む21世紀は、「こころ」と「こころ」を結ぶコミュニケーションづくりを充実させ、「人のつながり」を大切に市民生活が重要となります。

市民と行政とが連携・協働して「みんな」で学習活動を盛り上げ、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の市民「だれもが」自ら主体的に「いろいろな」学習機会にふれることで、世界の人々に対して誇れるような個性と広い視野を備え、成田を大切に、互いに助け合い、共に学びながら、社会情勢の変化に対応し、自立して生きていける「国際市民」を育むことが生涯学習分野における重要課題ともいえます。

私たちが「国際市民」となる上で重要なことは、本市の持つ自然や歴史の中で育まれた地域環境のもとで一人の市民として、何を学び、何をしたいのか、何ができるのかを考え、豊かなコミュニティづくりを進めるために生涯学習を実践していくことです。

こうした過程を経て、私たちは真の「国際市民」となっていくものと考えます。

このように、成田の豊かな自然と歴史のもと、市民一人一人の生涯にわたる学習を支え、「国際市民」を育むことを基本理念とし、「市民が学習成果を活かせるまちづくり」を導いていくための施策の推進に努めます。

本年度は、市民と連携・協働し、誰もが生涯にわたる生きがいを持ち、その成果をまちづくりに生かせるよう、「明治大学・成田社会人大学」をはじめ、「生涯大学院」、「高等学校等開放講座」、「公民館セカンドライフ支援セミナー」など生涯学習機会の充実に努めます。また、放課後子ども教室などの子どもの居場所づくり推進事業のさらなる充実、子どもの読書活動の推進を図るとともに、スポーツ健康宣言都市として積極的な事業を展開するなど、スポーツや文化の振興を含めた生涯学習社会の実現に努めていきます。

(1) 明治大学・成田社会人大学

高まる市民の学習ニーズに対応し、より専門的な学習機会を提供するとともに、激動する世界情勢の変化に対応できる「国際市民」を育むことを目的として、平成9年度から「明治大学・成田社会人大学」を開講しています。

平成14年度から、称号付与制度（修学士・教学士・弘学士）を開始し、学習意欲の向上に努めており、学習成果を「まちづくり」に生かせるカリキュラム編成を行います。

【平成30年度 学習テーマ】

- | | |
|--------------|--|
| ○国際社会課程 | ：国際情勢・国際協力について考える |
| ○教養文化課程 | ：2020年東京オリンピック～歴史、経済、社会～ |
| ○ライフマネジメント課程 | ：人生100年時代の食とセルフメディケーション
～食、予防医学、フィットネス～ |



開講式



講義風景

(2) 生涯大学院

60歳以上の人を対象として、社会環境の変化に順応していくための学習機会を提供し、高齢者が社会の担い手として能力を地域社会のために生かし、新たな生きがいを創造することを目的に、3学年制による生涯大学院を開設しています。

○教養講座：成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養（各学年 年間25回程度）

○専門講座：書道、園芸、陶芸、油絵、音楽、体操（選択制 年間15回）



授業風景



書道・陶芸・油絵展

(3) 公民館セカンドライフ支援セミナー

公民館では、既に現役を引退された方などが、今後も心身ともに健やかで生きがいを持ち、豊かな人生を送れるよう支援するためのセミナーを開催します。

(4) 家庭教育学級

親等が家庭で子どもの教育を行う上で必要な心構え・扱い方・留意点などを、集団で意図的・継続的に学習し、望ましい親の在り方や子どもに対する教育の資質を高め、親同士がつながることを目的に実施しています。小学校・中学校・義務教育学校が「健康・安全」「食育」「人権」「地域」、幼稚園・保育園が「健康・安全」「食育」「人権」「読書」の4項目を重点テーマに、本年度も、市立学校34校（35学級）のほか、市立幼稚園1園・私立幼稚園8園の9幼稚園、市立保育園13園・私立保育園10園の23保育園、私立こども園2園の計69の家庭教育学級を開設します。

(5) 放課後子ども教室

放課後や週末等に小学校等の空き教室等を活用して子どもの居場所を設け、地域の方の参画により、外遊びや自主学习、スポーツ、ものづくり等の体験学習の機会を提供します。

本年度は、小学校6校と義務教育学校1校で放課後子ども教室を実施します。



ドッジボール (豊住小学校)

(6) 子どもの読書活動の推進

「成田市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりを目指し、子どもの読書活動推進にかかる施策を総合的に推進します。

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、教職員の資質を高め、学び続ける教師を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

○教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ

○教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求する

○学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーを育成する

○小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。学校においては、児童生徒一人一人の個性や学校・地域社会の特性を生かした自主的、創造的な取組を通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営が推進されるよう、引き続き支援を行います。

(3) 特別支援教育の推進

心身に障がいがあるなど特別に支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、自閉症スペクトラム等を含め、心身に障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーターの資質向上と校内組織の充実を目指します。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員4名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

さらに、個々の障がいの種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍

する児童生徒の障がいの程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。本年度は41名の養護補助員を21校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、本年度は21名の特別支援教育支援員を21校へ配置しています。

(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全中学校に加え、成田小学校、公津の杜小学校、本城小学校、下総みどり学園に県費のスクールカウンセラーが配置され、更に市として拠点となる小学校12校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携を含めた効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(5) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。その指標として、第2次成田市生涯スポーツマスタープランに基づき、運動能力証の合格率を平成32年度までに30%となることを目指します。

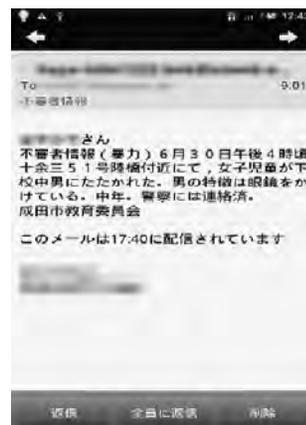
そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校1・2年生体育科の「水遊び」（低学年水泳指導）の充実のために、小学校12校に体育実技指導協力者を派遣するとともに、児童の体力向上と積極的交流を図るために「成田市ロードレース大会」を開催します。

さらに、運動部活動の顧問教諭による技術指導が困難な学校に対して、専門的な指導力を備えた外部指導者を派遣し、運動部活動等の更なる充実及び活性化を図ります。本年度は小中学校10校に、のべ26名の指導者を派遣しています。

(6) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導（不審者対応訓練や避難訓練の実施、交通安全教室の開催等）の充実を図ります。



携帯電話へ不審者情報を配信

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助します。

子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配布するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、不審者情報はなりたメール配信サービスを通じて迅速かつ正確に保護者に連絡します。



通学路合同点検

さらに、関係機関や関係各課と連携を図りながら、「成田市通学路交通安全プログラム」をもとに成田市通学路安全推進連絡協議会を組織し、交通安全・防犯の両面から通学路における危険個所の改善に取り組み、より一層の登下校の安全確保を図ります。

(7) 情報教育の推進

学校教育のICT化を推進し、情報及び情報手段を適切に選択・活用する能力等の情報リテラシーを育成するために、学校間情報ネットワークシステムの有効活用を図ります。

情報教育関連の各種の研修会については、パソコン教室、タブレット、大型ディスプレイ、指導者用デジタル教科書等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を図るなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会を推進します。

また、各学校が計画するICT研修会には、インストラクターを紹介し、タブレットを導入した学校には、ICT支援員を派遣するなどして、より専門的かつ充実した内容で研修が行われるよう学校の要望に応えます。

(8) 学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取組の一層の充実を図ります。

(9) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改造工事を段階

的に実施します。また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

(10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取組だけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、カウンセラー、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、いじめによる自殺などの重大事態が発生した場合に備えて、平成26年度からチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置しています。

(11) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、地域とともに歩む学校づくりを進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、地域ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるように取り組んでいきます。これにより、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教員の負担軽減を図ります。本年度は昨年度までの8校からさらに5校を加え、13校で実施していきます。

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。

各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年3回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指します。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）等を含めた発達障がいなどのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

平成22年9月から、医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を配置しており、医療的ケアを必要とする児童生徒の増加に対応するため、本年度から巡回看護師を2名増員し、4名体制で対応しています。

(3) 教育相談

教育センターに1名の臨床心理士を配置し、不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する学校を支援、児童生徒の様々な問題に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付

自分が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大きく発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。平成22年度から隔年発行しています。

(5) 情報教育の推進

情報教育を推進するため、教育用のセンターサーバ等の運営や、学校でのICT活用を支援します。

また、情報教育関連の各種研修会の開催や各学校内での研修会の運営支援を行い、パソコン教室、タブレット、大型ディスプレイ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い、情報共有を推進するなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

3 教育支援センター

教育支援センターは、学校不適應等により登校できないでいる児童生徒が学校に復帰できるよう、適応指導教室「ふれあいるーむ21」の運営を行うとともに、教育相談業務を行います。

教育支援センターでは、専任の指導主事を1名配置するとともに、7名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため、「臨床心理士」を教育支援センターに配置（1週間に1日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施するとともに、家庭から出られない児童生徒のために、巡回指導員を配置し、家庭訪問等の支援を行います。さらに、月1回程度、様々な講師の助言を受けケース会議を行い、児童生徒の学校復帰を目指します。

また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人一人の学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター「ふれあいるーむ21」

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 725人
学級数 27学級

自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、職員・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めています。児童の基礎的・基本的な学力の習得と、これまで培ってきた「コミュニケーション能力」を活用し、思考力と表現力を高めるため、全職員共通理解のもと指導しています。また、平成32年度に全国造形教育研究大会の会場校になることが決まり、本年度から校内の研究教科を図画工作科としています。児童の思考力・表現力の向上を目指した学習指導の工夫をすることができるよう日々研鑽に励んでいます。

本校の特色ある活動としては、参道に近いという立地条件を生かし、参道を訪れた外国からのお客様と英語を使ってコミュニケーションを図る「参道活動」があります。また、PTA活動も盛んで「成小フェスティバル」(バザー)や保護者と児童が協力して行う「エコ活動」等を実施しています。



成田山参道での参道活動



成小フェスティバルでの
エコホスト(エコ活動)



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 56人
学級数 7学級

学校教育目標「育て駒っ子 かしこく やさしく 健やかに ～ふるさとを愛し未来をたくましく切り拓く～」を実現するために、児童の豊かな人間関係づくりを基盤とし学習指導の充実を図りながら、家庭や地域と連携し、地域とともに歩む開かれた特色ある学校づくりを進めています。

本校の周りには、学校林「駒の森」があります。この森は地域の方々と長年にわたり守り育ててきた里山で、地域の誇りでありシンボルでもあります。カタクリの花やアカハライモリに代表される豊かな動植物を生かした学習を展開しています。また、学区には成田国際空港があり今後の地域の発展に必要な児童の能力を高める学習を探り実践しているところです。

保護者・地域の方々には本校への関心が高く協力的です。「素敵な先輩シリーズ」と題した授業を通じて児童に貴重な体験を伝え感動をもたせようとしています。



地域の書家による今年の漢字
学校の飛躍と児童の活躍を願って「躍」



保護者・地域の方々とともに
「駒の森」の整備



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 430人
学級数 17学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。成田国際空港に隣接しており、ペルーやフィリピン等の外国籍の児童が多く、日本語の特別指導を行っています。校庭の「大えのき」をシンボルとし、「夢に向かってがんばる子ども」を教育目標に、①「夢に向かって」(夢・希望)作戦、②「わかった・できた」(挑戦)作戦、③「ありがとう」(感動・感謝)作戦といった3つの具体的な方策を立て、子どもたちの心に残る(記憶に残る)小学校にしたいと考えています。

また、遠山地区の小中学校では、小小及び小中連携を積極的に推進しており、共通の「家庭学習の手引き」「生活の手引き」の作成・活用や、生徒指導上の課題についての情報交換などを行っています。地区としても連携を図りながら、児童生徒の育成に力を入れています。



歯科衛生士さんを招いて親子で正しい歯磨きについて学んでいます



学年ごとに体育館で書き初め大会を開催しました



成田市立久住小学校
(創立 平成23年)

児童数 388人
学級数 17学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かに たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲よし心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市のはほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は増加傾向にあり、本年度は1学級増の17学級となりました。

保護者や地域の教育への理解や支援もあつく、豊作や健康を願う「牛馬づくり」や「昔遊び」、「米作り体験」、「職業人に学ぶ」など、地域人材を活用し、豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。

本年度は国語科指導の研究を基軸として、対話的活動を取り入れた実践を行い、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成に取り組んでいます。



「5年国際交流学習」空港で、外国の方にインタビューしています



「3年地域探検」地域の方から石碑の説明を受けています



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 42人
学級数 6学級

本校の学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、南は根本名川に囲まれ、緑豊かな田園風景が広がった、歴史的な文化や伝統を継承している地域です。祖父母や保護者のほとんどの方々が本校を母校とし、「ふれあいフェスティバル」や「地区合同運動会」等の行事では、三世代が交流するなど、学校に対して非常に協力的です。

「ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子の育成」を学校教育目標として掲げ、小規模校のメリットを生かしたきめ細かな教育を推進して、一人一人のよさを大切にしている学校を目指しています。本年度は、総合的な学習の時間を中心とした研究を通して、児童の思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいます。本校の校訓でもある福沢諭吉翁由来の「独立自尊」を合言葉とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。



全校で田植え体験を行い「米どころ豊住」を実感しました



ふれあいフェスティバルで地域の方へダンスや楽器の演奏を披露しました



成田市立八生小学校
(創立 明治6年)

児童数 62人
学級数 8学級

成田市街の中心から北西へ約3km離れた場所に位置し、緑豊かな自然に恵まれた伝統ある学校です。地域住民は、学校への関心が非常に高く協力的です。

学校教育目標「やさしく かしこく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域社会との連携を重点目標に掲げ、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳び検定に取り組むとともに、縦割り活動や地域との交流、外部人材を活用した体験等、小規模校のよさを生かした学校づくりを行っています。

全校で「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」運動を推進するとともに、健やかな体づくりを目指して「遊友スポーツランキングちば」に挑戦しています。また、年間を通して下座の演奏にも取り組んでおり、運動会や地域の方々との交流行事、学校行事等で素晴らしい演奏を披露しています。



「群読発表会」では、各学年による発表や全校児童による発表を行いました



地域の方々との「いきいき大銀杏の会」では、毎年下座を披露しています



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 123人
学級数 8学級

本校は明治6年創立の伝統ある学校で、「心豊かで、自ら学ぶ、たくましい児童の育成」を目標に、家庭・地域との連携を図り、保護者・地域社会に信頼される学校づくりを推進しています。目指す児童像として、「思いやりのある子」「自分で考え、進んで学ぶ子」「元気でがんばりのきく子」を掲げ、命を大切に、明るい挨拶ができ、基礎・基本をしっかりと身に付けた子どもたちを育成しています。特に「あかるい あいさつ じぶんから さきにおうね 公津っ子」を合言葉とする「あじさい運動」に力を入れ、いつでもどこでも自分から進んで挨拶ができる子どもたちの育成に努めています。また、全校徒歩遠足(手つなぎ歩行会)や運動遊び(杉の子タイム)などの異学年交流(杉の子班活動)や地域との交流を年間通して計画的に行い、思いやりの心や協力性・協調性を育てています。校内研究では、児童一人一人の確かな学力の向上を目指し、算数科の研究に取り組んでいます。



「あじさい運動」
気持ちの良い挨拶を心がけています



「手つなぎ歩行会」
異学年で仲良く手をつないで歩きます



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 280人
学級数 14学級

成田ニュータウンの中に最初に開校した小学校で、創立47年目を迎えます。中台3・4・6丁目を学区とし、周辺には公園が点在し、緑道が整備された緑豊かで静かな環境です。保護者の学校教育への関心は高く、環境整備、防犯等に関するボランティア活動にも協力的です。学校教育目標は「新しい時代を創造する 心豊かで たくましい児童の育成」であり、合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」のもと、280人の児童が各教科等の学習をはじめ、学校行事、花の栽培、運動・音楽の課外活動等に熱心に取り組んでいます。

本校では、ニュータウンあおぞら会や成田国際高等学校の留学生をはじめ、様々な方々との交流活動を行っており、「地域とともに歩む学校」を目指しています。また、本年度は「明るいあいさつと返事」、「清掃の黙働」等の5項目の重点を決めて、学校全体で学校教育目標の具現化に努めています。



「歌声いっぱい」歌声集会



防犯教育公開授業



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 629人
学級数 23学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、近年発展著しい飯田町・江弁須地区及び再開発による大規模マンションが建ち並ぶニュータウンの加良部地区で学区を形成し、629人の児童が在籍する大規模校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。全職員の活気と連帯感に満ちた和の中で、教職員一人一人の主体性や特性が生かされる組織運営を目指すとともに、学校・保護者・地域との深い信頼と連帯の中で、子ども一人一人の「生きる力」を育んでいます。そして、「《夢を持ち 未来を拓く》確かな学力を身に付け、心豊かで健康な子どもを育てる」の教育目標のもとで、本年度も学校・保護者・地域が一致団結して「よく遊び よく学び よく働く からべっ子」を育てています。



1年生を迎える会



3年生学年レク



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 227人
学級数 10学級

昭和50年に成田ニュータウンの南端にニュータウン第3の小学校として開校しました。本校は、橋賀台1～3丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境にあり、特に碧い芝生と200mトラックのある広いグラウンドが自慢です。

「大きく 豊かに たくましく 生きる子どもの育成 -夢をかなえるための土台づくり-」を学校教育目標に、「よく考えて進んで学ぶ子」「思いやりがあり助け合う子」「丈夫でがんばりぬく子」を目指す児童像としています。本年度は研究テーマを「自己肯定感を育む道徳授業のあり方」とし、「節度をもち、明るく元気に学校生活を送る児童」の育成に努めています。また、小中連携教育を推進しており、吾妻中学校区3校の児童・生徒、職員、PTAが、それぞれ連携及び交流を進め、各種の地域行事に多数の児童が参加をしたり、学校行事に地域の方に来ていただいたりしています。



家族の日
三世代ふれあいグラウンド・ゴルフ大会



1年生を迎える会



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 203人
学級数 10学級

昭和52年4月に加良部小学校から分離、向台小学校の一部を借用して開校、今年で創立42年目を迎えました。昨年度大規模改造工事の外構工事が終了し、グラウンドに100m走路が戻ってきました。陸上大会や6月開催の運動会に向けて、朝から元気に運動している子どもたちの姿が見られます。

本年度は、児童数203人、通常学級8学級、特別支援学級2学級の合計10学級でスタートとなりました。学校目標に「強くて新しい学校」、「やさしい子・かしこい子・元気な子」を掲げ、「夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童の育成」に努めています。特色ある教育活動として、思いやりやリーダー性の育成を図るため、縦割り交流活動「すすく班」での全校遠足、清掃、定期的なレク活動、縄跳び大会等、様々な取組を行っています。1年生から6年生が「みんななかよし じょうぶに育て」を合い言葉に笑顔で登校、満足して下校できる学校づくりを進めています。



「みんななかよし じょうぶに育て」の
記念碑



赤坂公園への全校遠足



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 826人
学級数 29学級

本校は、成田ニュータウンの西部に位置し、創立41年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。本校の学校教育目標である「みんな仲良く たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子 喜んで働く子（徳育）」「自ら学びとる子（知育）」「健康でたくましい子（体育）」を育てるため、元気なあいさつや勤労・生産活動、思考力・表現力の育成、個に応じた運動や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。特に、一人一鉢運動や縦割り清掃、様々な業種のゲストティーチャーによるキャリア教育「人生の先輩から学ぼう」を通して、働く喜びや夢を育む取組をしています。子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻・はなのき台地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。



全校児童で雪遊び



40周年事業「ピッコロコンサート」



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 308人
学級数 14学級

本校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

本校は教育目標を「心豊かでたくましく生きる力を身につけた児童の育成」とし、教育活動の充実に努めています。本年度も「チーム玉造」、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進し、「やさしく・かしこく・たくましく」を合言葉としています。特に、「玉造小スタンダード」をもとに、学習のしつけや家庭学習の習慣化、ドリルタイム等で基礎基本の定着を図っています。また、情緒の通級指導教室「スマイル」を活用して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を充実させています。そのほか、縦割り班活動や縦割り清掃に取り組んだり、地域の方による読み聞かせをしていただいたりして、異学年や地域の方との交流を深めています。



縦割り班活動



地域の方による読み聞かせ



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 184人
学級数 9学級

本校は本年度創立37年目になります。本年度の学校教育目標「かしこい子どもの育成」の具現化として「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活を目指し、保護者からも信頼される教職員であることに努めます。

中台地区の社会福祉協議会の協力のもと、「あいさつ運動」「ペットボトルキャップ回収運動」「花植え活動」など継続して活動しています。本校を取り巻く環境は整っており、保護者・地域の方々の教育的な関心も高く、活発なPTA活動がなされ、防犯パトロールや読み聞かせのボランティアの皆さんからお力添えをいただいています。このような中で、花や緑いっぱいの学校、朝はグラウンドで陸上の練習、校舎からはブラスバンドの音が鳴り響き、笑顔と元気なあいさつが交わされ、授業に集中する姿が見られます。



運動会の花「マーチングパレード」は、高学年が参加しています



社会福祉協議会の皆さんに協力していただき、花植え活動を行っています



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 195人
学級数 9学級

創立34周年を迎える本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりを目指して「神宮寺祭り」「どんど焼き」などの文化活動や、各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校の先生や生徒によるおもしろ実験教室や、綱引き練習などの交流を行ったり、地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」を毎朝開催したり、学校、家庭、地域との交流が盛んです。このような地域環境の中、「心豊かでたくましく実践力のある児童の育成」の学校教育目標のもと、「知・徳・体の調和」を図り「よく学び、よく遊べ、感動いっぱいの神宮寺小」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



「おもしろ実験室」成田北高校の先生を講師に招いて実験室を行っています



「メキシコ歌曲交流会」メキシコの歌手の方と交流を行っています



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 535人
学級数 20学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく生きぬく人づくりをめざして ～知・徳・体の調和～」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部（陸上、綱引き）と合唱部の活動を通年行っています。また、子どもたちが夢や希望を抱きつつ、健全に成長するために、地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度9年目）が推進されています。



ペットボトルツリー点灯式



1・6年生 鯉のぼり遠足



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 365人
学級数 17学級

本城という地区名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちの本当の根城にしようという願いを込めて付けたと言われてしています。学区住民は地域の学校としての意識が強く教育熱心であり、学校教育に対する強い期待を持ち、協力的です。「夢と希望を笑顔で語る子どもたち」を合言葉に、一人一人の児童が充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域の連携を密にして、学校教育目標「たくましく、心豊かな子どもの育成」に努めています。本年度は、(1)心の教育、規範意識の醸成及びあいさつの実践(2)具体的な学力向上策を講じるとともに読書活動や日記の奨励と家庭学習の充実(3)体力向上と基本的な生活習慣の定着を重点事項として取り組んでいます。また、機動隊による「下校指導」や民生委員による「交通指導・挨拶運動」において地域との連携を図り、「昔の遊び」「百人一首・かるた大会」等の活動を通して、人間関係づくりと豊かな心の育成を図っています。



機動隊のお兄さんに教えてもらったよ!
「いかのおすし」



縦割り班対抗
「百人一首・かるた大会」



成田市立大須賀小学校
(創立 明治41年)

児童数 55人
学級数 7学級

本年度、学校教育目標を「未来を切り開く 心豊かで かしこく たくましい児童の育成」とし、学校経営の重点を「チーム大須賀の学校力の向上」「確かな学力の向上」「豊かな心を育む教育活動の推進」「体力の向上と健康・安全教育の推進」「生徒指導・教育相談活動の推進」「地域とともに歩む学校の推進」と定め、「一人一人が輝く大須賀小学校」を目指して取り組んでいます。本校の学区は、伊能、奈土地区を中心に9つのブロックで成り立ち、歴史的にも古く、特に伊能地区には由緒ある神社仏閣が点在しています。「伊能歌舞伎」は市指定無形民俗文化財であり、保存会・後援会の方から、子どもたちが歴史や所作などを学んでいます。昨年は、成田伝統芸能まつりで、6年生がこども歌舞伎を披露しました。地域の青少年相談員との連携も意欲的であり、その精力的な指導により、昨年度も大栄地区青少年綱引き交流会において優勝し5連覇を成し遂げ、成田市青少年交流綱引き大会ではベスト8に輝きました。



こども歌舞伎「白浪五人男」



成田市青少年交流綱引き大会
合い言葉は「大須賀魂」



成田市立桜田小学校
(創立 昭和32年)

児童数 108人
学級数 8学級

本校は、成田市の東端に位置し、大栄インターの近く国道51号沿いの三角屋根の時計台がある学校です。印旛地区公立小学校では唯一制服のある学校です。本校では「心の美しい たくましい子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、学力向上・体力向上、そして豊かな心の育成に重点をおいて教育活動を行っています。4年生から6年生は、毎日運動部や合唱部の課外練習に参加しています。昨年度は運動能力証の交付率が市内トップで、歌声の素晴らしさは訪れる人に感動を与えています。

また、地域の特別養護老人ホームとの交流や、社会福祉協議会との連携による花苗植え教室やグラウンド・ゴルフ、しめ縄作りなどの行事を通して、地域の方々との交流も深めています。

本年度も、「文化芸術による子供の育成事業」を通じた音楽鑑賞会を始め、本物に触れる機会を数多く設定し、感動する心や生きる力を育てていきます。



一緒に歌って踊った
千葉県警察音楽隊安全安心コンサート



社会福祉協議会と6年生のしめ縄作り



成田市立前林小学校
(創立 明治8年)

児童数 62人
学級数 7学級

本校は、畑作を中心とした農村地帯にあり、豊かな自然に恵まれた地域です。校門近くに天にも届くような大木「あららぎ」があります。正式名を広葉杉（こうようざん）というこの木は、本校のシンボルツリーであり、本校の歴史とともに子どもたちの伸びやかな成長を見守っています。本校の教育目標は、「夢をもち 心豊かに学ぶ 実践力のある人づくりを目指してーかしこく・やさしく・たくましくー」です。特色ある教育としては、地域の施設や人材を生かした特別養護老人ホーム有楽苑、ア－アンドデイだいえいと交流やもち米作り、全校縦割り活動などがあり、これらの体験活動を通して、子どもたちに豊かな心、実践する力などを育てています。また、「知・徳・体」それぞれに具体的な目標を設定し、年間を通して共通実践を行うことで、教育課題の解決を図ることを目指しています。



「米作り体験活動 5年生による稲刈り」
地域の小林さんに指導していただきました



「全校縦割り活動 あららぎ集会」
アスレチックで交流を深めました



成田市立津富浦小学校
(創立 明治6年)

児童数 90人
学級数 8学級

学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」のもと、算数科を研究教科として位置づけ、読書タイムやドリルタイム、相互授業参観等、児童の基礎学力向上や教師の授業力向上に向けた取組に力を入れています。また、通年で取り組む部活動、軽快な音楽に乗って全校で取り組むエアロビクスなど、体力向上に向けた取組も行っています。校庭にはクヌギの大樹があり、「つぶうらくぬぎ」と呼ばれ地域からも大切にされています。この「つぶうらくぬぎ」をモチーフにした「くぬぎん」は、本校のマスコットキャラクターとして子ども達でキャラの設定を考え、地域・保護者に親しまれています。さらに学校支援ボランティアや社会福祉協議会の方の協力のもと、読み聞かせ、生活科・家庭科・校外学習時の安全指導、グラウンド・ゴルフ大会やしめ縄作りなど、地域の方との交流の場を積極的に設定し、地域社会とともに、児童の育成に努めています。



地域の方にご指導をいただいている
しめ縄作り



雪につつまれた
くぬぎの木



成田市立川上小学校
(創立 昭和32年)

児童数 125人
学級数 8学級

本校の学区は成田市の東部に位置します。学区は広く、畑や工場、倉庫、住宅が混在しています。空港の発展とともに畑作中心の農業地域から、工場や物流倉庫が増えるなど地域社会が大きく変貌しています。本校では、学校教育目標「学ぶ意欲が高く、心身ともに健康な児童の育成～明日のために、今を精いっぱい生きる子どもの育成～」を達成するために、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を心がけ、調和の取れた人間性豊かな児童を育てようと努めています。算数をはじめとする少人数指導、基礎学力を定着させるためのチャレンジタイムの充実、特別支援教育・生徒指導などの推進に力を入れています。また、本物の竹を使う竹馬作りや竹馬大会、流しそうめん、餅つき大会、昔の遊びなどの地域との交流を深める行事を実施し、地域の皆さんとともに歩む学校づくりをしています。また、大栄地区の小中学校の統合を見据え、5つの小学校と1つの中学校で連携を推進しています。



運動会 全校で取り組む鼓笛隊



竹馬大会 毎年恒例の竹馬リレー



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 855人
学級数 30学級

開校13年目となる本校は、学校教育目標に「未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成」を掲げています。確かな学力・豊かな心・たくましい体を育むことを重点目標に定め、「『好き』を増やす」をスローガンとして、「自分が好き、友達が好き、家族が好き、公津の杜小学校が好きな子」を育てたいと考えています。具体的な手立てとして「規律ある学習習慣の確立」「より良い人間関係づくりの推進」「体力の向上と食育」に力を入れて取り組んでいます。

また、本校は文部科学省教育課程研究指定校家庭科（H29～30）、千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会小学校部会（H28～30）の研究指定を受けています。本年度秋の関東甲信越ブロックの公開研究会に向けて、全職員が一丸となって取り組んでいます。



「春の全校遠足」
異学年で楽しく交流



「4年生 鯉のぼり飾り付け」
公津の杜小名物の鯉のぼり



成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 343人
学級数 15学級

「かしこく・やさしく・たくましく～夢をかなえる土台づくり～」を学校教育目標に掲げ、力いっぱい学ぶ子、思いやりがあり助け合う子、丈夫でがんばりぬく子の育成に努めています。「かしこく」では、ドリルタイムや朝の読書タイムなどで、基礎・基本の定着を図るとともに、授業では問題解決的な学習を推進しています。「やさしく」では、年間を通じて、あいさつ運動や縦割り活動、親切運動に取り組み、豊かな人間関係づくりに努めています。「たくましく」では、体育科の授業を充実させるとともに、昼休みやリフレッシュタイムの中で外遊びを奨励し、体力の向上を図っています。

また、毎年5年生は地域の田を借りての米づくり体験、4年生は福祉体験、1年生は昔遊び活動など、地域の方々との交流を通じて、優しさや感謝の心、豊かな人間性を育てています。

本年度は、「一步前へ」を合い言葉に、子どもたちが明るく楽しく通う学校づくりにも努めています。



「1年生 昔遊び」
地域の方と一緒に遊びました



「5年生 米づくり」
地域の協力を得て田植え体験



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 502人
学級数 17学級

「豊かな心を持ち、正しい判断力・実践力を身につけた、たくましい生徒～自立と共生を目指して」を学校教育目標に掲げ、『「生きる力」を育み、自信と誇りに満ちた成田中学校の創造』をスローガンに全教職員一丸となり教育活動を実践しています。「元気なあいさつ」と「さわやかな歌声」が響き渡る活気ある学校づくりに向け、生徒会や委員会が中心となり子どもたちの主体的な活動を推進しています。

また、授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った指導方法の工夫改善に取り組んでいます。外国語教育では、「生きた英語力」を身につけさせるため、ALTを積極的に活用したコミュニケーション能力を高める授業づくり、数学科では、少人数やティーム・ティーチングを取り入れたきめ細かな指導を実践し、子どもたちの学力向上を目指しています。



響き渡る歌声
充実した歌声活動



積極的なコミュニケーションを
取り入れた英語学習



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 378人
学級数 15学級

本校は、成田国際空港に最も近い中学校です。本校の大きな特色は生徒の意欲を大切にどの行事でも生徒主体で行うことです。体育祭、合唱コンクールはもちろんですが、入学式は生徒会が司会・進行の一部を行い、練習のときも生徒主体で行っています。教職員、生徒が一体となって新入生を心から迎えることを目的とし、地域の来賓の方や保護者からも多くの好評を得ています。

1月に行われた新入生と保護者がともに集まる学校説明会では、全校生徒による大地讃頌の合唱を披露し、学校に対する安心感と信頼感を得ることができました。

本校は遠方の地域から通学する生徒が多く、9割以上の生徒が自転車通学をしています。交通安全への意識を生徒自ら高めるために、入学前の児童に対して3年生の生徒が各小学校に出向き自転車の乗り方教室を行っています。これからは生徒が自らつくる学校を目指していきます。



学校説明会で全校合唱を披露



新入生の入学前に先輩達が自転車の乗り方を
教えに行きます



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 115人
学級数 6学級

本校の学区は、成田市の中央に位置し、水田中心の旧久住第一小学区（北西部）と畑作中心の旧久住第二小学区（東南部）からなります。近年、久住中央地区の宅地開発に伴い生徒数が増加し、本年度は全校生徒が115人となりました。平成29年度には校舎増築棟が完成しました。平成23年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、小中連携教育の推進に努めています。本校は、次の6点を経営方針とし、特色ある学校づくりを進めています。

- 1 小規模校の特性を生かした、教育活動を工夫する。
- 2 教育目標の具現化に向け、組織力を集結し、協働体制を確立する。
- 3 学力向上をめざし、指導力向上につながる取組を推進する。
- 4 自己の生き方や社会との関わりについて考えさせる社会に開かれた教育課程を編成する。
- 5 小学校・家庭・地域と連携した安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。
- 6 勤務時間を意識した働き方を進め、校務遂行の能率化を図る。



総合的な学習の時間の伝承芸能の発表



久住小中合同英語学習活動



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 562人
学級数 21学級

本校は白亜の大きな校舎、広い体育館、陸上競技場など恵まれた施設・設備のもと「文武両道 熱き西中魂」「一生懸命がかっこいい」をスローガンに掲げ、明るく元気に前向きに活動に励んでいます。また、めざす生徒像「かたち」(感性 忍耐 知性 人間力)を経営方針に掲げています。学習面では「学力の向上」を目標に、国語、数学、英語を中心に、10分間のドリルタイムを毎日位置づけています。全校道徳として外部講師を招き、国際理解や命の授業を行い、全校で一つのテーマについて取り組んでいます。また、学区の清掃ボランティアや敬老会へも生徒会組織として積極的に参加しています。

学校と家庭との連携については、4月に教育課程説明会を開催して学校経営方針の理解に努め、また、7月にPTA主催で教師と保護者の語らいの場「西中の夕べ」を行っています。本年度も本校の教育目標である「たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」の具現化に向け、地域・家庭・学校が一体となった教育活動をさらに推進していきます。



赤坂消防署のご指導のもと、「消火訓練」と「煙体験」を実施しました



「キャリア教育」基礎的・汎用的能力の人間関係形成を目指した授業展開



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

生徒数 246人
学級数 11学級

本校の生徒は、成田ニュータウンの4つの小学校区（向台小学校・中台小学校・新山小学校・加良部小学校）から通学しています。自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。

本年度は80人の新入生を迎え、全校生徒246人が自主的に取り組むことを目標に、学習に部活動に毎日頑張っています。学習の面では、英語検定や漢字検定等の受検者も多く、合格率も向上しています。

また、体育祭、けやき祭等の学校行事への取組や、地域のボランティア活動への参加にも積極的で、地域で行われるクリーン作戦、敬老会、歳末助け合い街頭募金活動などに参加しています。さらに、福祉教育の研究指定（H25～H27）を機に、地域との密着力を次第に強くしています。

明るく活動的な生徒たちは、志を高くもち、目標に向かって毎日努力し、心身共に鍛えています。



将来の夢に向かって
「職業人に聴く会」



地域のために力を合わせて
「ボランティア活動」



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 366人
学級数 14学級

本校は、成田ニュータウンの西に位置し、学区は橋賀台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部からなります。空港関連業種を中心に全国からの転入者が多い地区であり、近年、学区の小学校を含め、児童生徒数が増加傾向にあります。開校から41年目を迎え、新入生から制服も新しくなりました。これまでの伝統を引き継ぎながら、新たな吾妻中学校のスタートを切っています。春には校地を取り囲む百本近くの八重桜が美しい花を咲かせる素晴らしい環境の学校です。

学校教育目標は「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」であり、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、職員一同、全力で取り組んでいます。中でも、国際性や実践的なコミュニケーション能力の基礎を身に付けた生徒を育成するために、独自の教育課程を編成し、英語授業の充実を図っています。



制服が新しくなり、新たな吾妻中学校の
スタートを切りました



創立40周年式典を行い、さらなる吾妻中
学校の発展に決意を新たにしました



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

生徒数 288人
学級数 11学級

本校は成田ニュータウンの北端にあり、玉造地区（1～7丁目）、八生地区の上福田・大竹・松崎及び公津地区の八代から学区が成り立っています。入学してくる生徒は、玉造小・神宮寺小・八生小の3校で9割以上を占め、本年度は合計288人で日々の学校生活を送っています。

平成27年5月に生徒総会で議決した、「挨拶・返事」「学習」「合唱活動」「無言清掃」「団結力」の「当たり前5項目」を当たり前できるように、日々取り組んでいます。

学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指し、本年度も次のことに取り組んでいます。

- ・本に親しみ、視野を広げ、学習意欲を高めるための朝の読書の実施
- ・ボランティア活動等、地域の活動への積極的な参加
- ・地域のボランティアの方による部活動支援及び図書室支援



大いに盛り上がったチャランゴ演奏会



専門家によるDNA抽出の授業



成田市立大栄中学校
(創立 昭和58年)

生徒数 236人
学級数 9学級

成田市の東部に位置し、大須賀・桜田・前林・津富浦・川上の5つの学区からなる本校は、学区中央に大須賀川が流れ、畑作地帯が田園を取り巻く自然豊かな環境にあります。

本校は「確かな学力 豊かな感性 強い体を持ち、未来をたくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標として、その達成を目指して様々な教育活動を展開しています。また、平成33年度に予定されている義務教育学校「大栄みらい学園」の開校に向け、本校の良き伝統を築くとともに、学区小学校との連携をさらに進めています。本年も引き続き「一生懸命 日本一」をスローガンに掲げ、生徒一人一人が何事にも一生懸命取り組むことのできる学校づくりと、学校と保護者・地域が一体となって子どもたちを育てていく「共育」を推進しています。



体育祭
小学生と走る地区対抗リレー



白亜祭
学区内の小学校6年生を招いて合同合唱



成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 611人
学級数 19学級

本校は、本年度開校6年目を迎えました。生徒数497人で開校して以来、年々生徒数は増加し、本年度はついに600人を突破し、611人と、市内で最も大きな規模の中学校となりました。最新の施設設備と保護者をはじめとする地域の温かな支援のもとで、生徒たちはのびのびと勉強に、運動にと頑張っています。

学校教育目標は、昨年度と同じ「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」です。特に本年度は、生涯学習の基礎を培うという観点にたち「一人一人が自分の生き方や考え方を見つめ、自分らしく生きることができる教育」「主役である生徒が学習に対する意欲をしっかりと持ち続けることができる教育」を目指しています。目標の実現に向け、生徒が中心となつての生徒会活動の充実や、道徳教育推進校として県教委の指定を受けての心の教育推進キャンペーンへの参加など、新たな取組に挑戦しています。



昨年度、ゆるキャラグランプリ優勝のうなりくんを吹奏楽部が祝福しました



一人一人が自分の生き方を見つめられるよう、道徳授業の充実を図っています



成田市立下総みどり学園
(創立 平成29年)

児童生徒数 393人
学級数 23学級

本校は、成田市で最初の施設一体型の小中一貫教育校として平成26年に誕生し、平成29年度から義務教育学校として新たなスタートを切りました。義務教育9年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう連続した学びを実践しています。そのために、9年間を、前期(1~4学年)、中期(5~7学年)、後期(8・9学年)の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っています。毎日の清掃活動をはじめ、多くの教育活動の中で異学年交流を図り、上級生は自己有用感を養い、下級生は高い目標をもって生活する様子が見られます。また、全学年・全教科において協働学習を取り入れ、互いに認め、高め合える児童生徒の育成を目指しています。



全校遠足・マスコットの「みどたん」



5・7年生の小見川宿泊学習

成田市立大栄幼稚園
(創立 平成8年)

園児数 163人
学級数 6学級

本園は、成田市の東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を臨む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園や大栄B&G海洋センター、ナスパ・スタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を利用したり、緑豊かな自然との触れ合いを大切にした保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友だちとなかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成に努めています。

本年度は、3歳児2クラス47人・4歳児2クラス8人・5歳児2クラス3人、合計58人の新入園児を迎え6クラス163人でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



年長組のマフラー屋さんでお買い物
「やったー！」



みんなで育てたスナップエンドウの筋を上手にとって・・・どんな味かな？

5 学校給食センター

学校給食は、教育活動の一環として定着し、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場、公津の杜小学校学校給食共同調理場で給食を調理しています。

(1) 食に関する指導の充実

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、栄養バランスのとれた豊かな学校給食を提供し、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や、望ましい食習慣が身に付くよう食に関する指導を充実させます。

また、子どもを生活習慣病から守るため、家庭に対して、毎朝きちんと朝食をとり、脂肪や塩分をおさえた食事をし、野菜などで食物繊維をしっかりとることなどの指導にも努めます。



栄養教諭による食に関する指導

(2) 献立の充実

ア 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で提供できるよう、十分な配慮を行います。

イ 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるような食品の組み合わせや調理方法の工夫に努めます。

ウ 学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

エ 成田産食材の使用として、主食となる米飯は全て成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、栄養管理、衛生管理及び指導面の充実に努めています。

また、保健所の指導協力のもとに職員の健康診断等を行うとともに、施設設備の点検、整理、整頓に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

区 分	基 準 値			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	生徒（12歳～14歳）の場合
エネルギー（kcal）	530	650	780	830
たんぱく質（％）	学校給食における摂取エネルギー全体の13%から20%			
脂 質（％）	学校給食における摂取エネルギー全体の20%から30%			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	2未満	2未満	2.5未満	2.5未満
カルシウム（mg）	290	350	360	450
マグネシウム（mg）	40	50	70	120
鉄（mg）	2.5	3	4	4
ビタミンA（ μ gRAE）	170	200	240	300
ビタミンB1（mg）	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2（mg）	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	20	25	30
食物繊維（g）	4以上	5以上	5以上	6.5以上

- 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。
亜 鉛……児童（6歳～7歳） 2mg、児童（8歳～9歳） 2mg、
児童（10歳～11歳） 2mg、生徒（12歳～14歳） 3mg
- この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。
- 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

（4）食材の放射能対策

食材の放射能対策については、今後も生鮮食材を中心とする調理前の食材のサンプリング検査を実施してまいります。なお、測定結果については、毎月配布する献立表の裏面に掲載するとともに、ホームページで随時公表してまいります。



食品放射能測定器（玉造分所）

食品衛生法に基づく放射性セシウムの規制値（Cs-134とCs-137の合計値）	
飲 料 水	10
牛 乳	50
一 般 食 品	100
乳 児 用 食 品	50

（単位：ベクレル /Kg）

(5) 地域との連携

本市の給食についての考え方や取組を伝え、実際に味わっていただくことで、給食の良さを広く市民に伝えることを目的とした「なりたの五つ星給食レストラン」を開催しています。

(6) 給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成21年度に施設整備基本計画を、平成22年度に施設整備実施計画を策定しました。その後、平成26年度に実施計画を見直しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び食育の推進が可能となる親子方式(※)による施設の整備を進めていきます。



公津の杜小学校学校給食共同調理場

平成28年4月には、親子方式による3番目の施設となる公津の杜小学校学校給食共同調理場の運用を開始しました。

本年度は、美郷台小学校学校給食共同調理場の整備に着手します。

※ 敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式

生涯学習

1 施策の概要

市民が生涯の各期において自己啓発を続け、主体的にかつ豊かに生き、お互いの連帯感を高めていく地域社会づくりを目指し、各種教育機関・組織・団体との幅広い連携のもとに、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支援します。

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進協議会

生涯学習推進協議会は、平成23年度にスタートした第2次成田市生涯学習推進計画及び成田市生涯スポーツマスタープランに基づいた諸施策について、広く市民の意見及び要望を取り入れ、効果的な施策の展開を図るため設置しています。

② 社会教育委員会議

社会教育委員の職務には、青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（社会教育）に関する計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見陳述、その他の調査研究などがあります。

③ 成田市まなび&ボランティアサイト (<http://www.genki365.com/narita/>)

インターネット上で市民の様々な活動・活動運営を支援するシステムです。コミュニティ活動、地域活動、福祉、子育て、学習、講座など、市内で行われる活動に関して、イベントやまなび機会、ボランティア募集、各種団体、各種人材など、様々な情報を行政から提供するばかりでなく、参加団体等からも情報が発信できるなど、交流窓口にもなるサイトです。



まなび&ボランティアサイトトップページ

○このサイトでできること

〔何かの活動に参加したい市民は〕

- ・ イベント、ボランティア募集、各種団体の活動等の情報検索、閲覧

〔既に何らかの活動をしている市民は〕

- ・ イベント等の指導者や講師の検索、閲覧
- ・ 団体の基本情報として活動内容、活動日、会員募集、連絡先等を掲載
- ・ 団体で開催するイベント等のボランティア等の支援者募集や参加者の募集を掲載
- ・ 団体の活動の状況を広く知ってもらうため活動報告や活動写真等を掲載

- ・人材情報として自分が活動できる特技（指導内容・ボランティア内容、活動可能日、連絡先など）の掲載

○登録されている情報について

- ・個人情報保護の観点から、個人情報に関する部分については特に本人の同意をいただき公開します。
- ・掲載されている各種情報は、希望する人材や団体からの申し込みにより登録されており、指導能力、ボランティア能力、公共性、公益性、情報の正しさ等を公的に保証するものではありません。

（2）家庭教育の充実

① 子育て学習講座・思春期子育て講座

各小学校及び義務教育学校で行う就学時健康診断や入学説明会等の機会に、「子育て学習講座」を開設します。子どもの発達段階に合わせ、家庭教育に対する関心を高めたり、親同士の親睦を深めたりしながら家庭教育の充実を目指します。また各中学校では「思春期子育て講座」を開設し、多感な時期の子どもたちへの支援の方法を学びます。



思春期子育て学習講座

（3）成人教育の充実

① 生涯学習講演会

市民が誰でも参加できる学習機会として、生涯学習講演会を開催します。

② 高等学校等開放講座

学校が持つ優れた人材と施設・設備を地域に開放し、市民に対し生活上、職業上必要な知識と技術及び一般教養に関する学習機会を提供することを目的に開催しており、多様化・専門化する市民の学習ニーズに応えています。

（4）青少年教育の充実

① 青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策の適切な実施を図るため、関係行政機関と連絡調整を行うとともに、目的達成に必要な事項を調査審議しています。

② 青少年健全育成事業

青少年育成団体の活動に助成・支援を行うことにより、地域における青少年活動を活発にし、青少年の健全な育成を図ります。

ア 青少年育成市民会議

市内15地区の青少年健全育成協議会を統括して、青少年問題に関する共通理解を深め、地域における関係機関・団体が連絡協調を図りながら、効果的な青少年の健全育成を推進するための事業を開催するとともに、市内関係団体への支援を行っています。

○青少年音楽祭

イ 青少年相談員連絡協議会

青少年活動の促進を図るとともに、社会環境の浄化、青少年の体位体力の向上と健全な家庭づくりを推進し、青少年の非行防止のために率先してボランティア活動を行うことを目的に各種事業を推進しています。

○オールナイトハイク（中学校1～3年生及び義務教育学校7～9年生対象）

○青少年交流綱引き大会（小学校及び義務教育学校4～6年生対象）



～オールナイトハイク～



～青少年交流綱引き大会～

ウ 子ども会連絡会

各子ども会の自主性を尊重しつつ、その健全な発展を図ることを目的に活動を行っています。

○親子体験事業 ○子ども会まつり

エ 青少年の輪を育てる会

○高校生・勤労青少年バレーボール大会

③ ジュニアリーダー養成

次代を担う青少年のリーダーをさまざまな「体験」を通して養成します。

○ジュニアリーダー養成研修会

④ 青少年感動芸術劇場

青少年の情操教育の一環として、良質な芸術文化鑑賞の機会を提供し、青少年の資質の向上を図ることを目的に開催しています。

⑤ 成人式

新成人の門出を祝う行事を開催します。



歴史講演会



史跡めぐり

また、平成28年4月に千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市が共同で日本遺産「北総四都市江戸紀行～江戸を感じる北総の町並み」として認定され、29年度は小学生向けの副読本やボランティアガイド向けのガイドブックの作製、各種イベントでの広報活動を行いました。

平成29年8月23日から平成30年1月28日にかけて、友好都市締結15周年を記念して韓国・井邑市立博物館で「日韓文化交流展」が開催され、本市からも300点を超える文化財資料を貸し出し展示されました。

今後は、さらに情報発信や普及啓発等の事業に努めてまいります。

③ 三里塚御料牧場記念館

日本の畜産振興に輝かしい実績を残した旧宮内庁御料牧場の在りし日の姿を再現し、佐倉七牧や牧場の歴史的遺産を継承・啓発するための記念館です。

平成29年6月3日から25日まで成田市文化芸術センターギャラリーにおいて、写真展「下総御料牧場の記憶」を開催しました。

記念館の管理運営を適切に行うとともに、関係資料の収集保管にも努めています。

④ 下総歴史民俗資料館

市内の歴史資料や民俗資料を展示しています。ナウマンゾウの頭骨化石をはじめとする様々な歴史資料や農具を中心とした民俗資料など、有史以前から現代に至る北総地区の生活のあゆみがわかる資料館です。



三里塚御料牧場記念館



下総歴史民俗資料館

(7) 平成30年度 生涯学習課事業計画

事業名や実施団体等		開催時期等		
青少年教育の充実	団体活動の支援	青少年育成市民会議	・青少年音楽祭 10月17日	
		青少年相談員連絡協議会	・第28回オールナイトハイク 7月27日～28日 ・第31回成田市青少年交流網引き大会 2月17日	
		子ども会連絡会	・子ども会まつり ・第1回親子体験事業(地引き綱) ・第2回親子体験事業(科学館・プラネタリウム)	
		青少年の輪を育てる会	・高校生・勤労青少年バレーボール大会 8月19日	
	リーダー養成	ジュニアリーダー養成事業	・ジュニアリーダー養成研修会 (自然体験、レクリエーション活動など)	
	文化芸術活動	青少年感動芸術劇場	・ルドルフとイッパイアッテナ (小学生公演) 12月22日(成田国際文化会館) ・トラの恩がえし (中学生公演) 11月6日～17日(各中学校体育館)	
	社会参加	成人式	・平成31年成田市成人式 1月13日 ※新成人で組織した成人式実行委員会で企画・運営	
		成田わくわくひろば (子どもの居場所づくり推進事業)	・合同事業 ※キャンプや異年齢集団の交流など、市内地区運営委員会による子どもの体験学習や居場所づくりの推進	
	学習機会の充実	家庭教育	家庭教育学級	各小中義務教育学校、幼稚園、保育園、こども園で開催
			子育て学習講座 思春期子育て講座	就学時健康診断や入学説明会時に各学校で開催
青少年教育		放課後子ども教室	遠山小学校、豊住小学校、八生小学校、加良部小学校、中台小学校、美郷台小学校、下総みどり学園で開催	

事業名や実施団体等		開催時期等
学習機会の充実	成人教育	<p>【県立成田西陵高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に潤いと新しい発見を 9月8日～10月20日 4回 <p>【県立成田北高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を油絵にしよう 9月27日～12月6日 8回 <p>【県立成田国際高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級英語講座 9月1日～9月29日 5回 ・中級英語講座 9月1日～9月29日 5回 <p>【私立成田高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩鑑賞と思想研究 ・成田山新勝寺の歴史～『新編成田山史』をもとに 9月15日～10月27日 5回 <p>【成田国際福祉専門学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でできる介護と高齢者の食事のつくり方 8月27日～9月8日 5回 ・初級簿記 1月12日～2月16日 6回
	生涯学習講演会	<p>5月19日～11月17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会課程 国際情勢・国際協力について考える ・教養文化課程 2020年東京オリンピック～歴史、経済、社会～ ・ライフマネジメント課程 人生100年時代の食とセルフメディケーション ～食、予防医学、フィットネス～
	高齢者教育	<p>5月12日～3月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養講座 成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養 (各学年 年間25回程度) ・専門講座 書道、園芸、陶芸、油絵、音楽、体操 (選択制 年間15回)
地域社会教育活動の充実	団体活動の支援	<p>P T A 連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 5月12日 ・市P T Aバレーボール大会 6月9日 ・運営研修会 家庭教育・地域教育力向上講演会 6月16日 ・防災研修会 9月5日 ・視察研修 10月5日 ・教養研修会 12月15日
	成田ユネスコ協会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 5月16日 ・国際交流事業「日本の香りをあなたに」 毎月第3火曜日 ・成田の地域遺産写真展 ・世界寺子屋運動 ・世界遺産活動
文化財保護	文化財啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史講演会 5月13日、12月2日 ・史跡めぐり 5月19日、6月2日、16日 ・博物館めぐり 11月下旬、3月下旬 ・下総歴史民俗資料館企画展 2月～3月

2 公民館

(1) 魅力ある公民館活動の推進

公民館は、日常生活に最も身近な生涯学習の拠点として、市民がグループで行う自主的活動を尊重し、学習や文化活動を支援しています。

また、市民の多様化する学習課題に適切に応えるため、子どもから高齢者までを対象とした主催事業を各種実施しています。

今後も新規利用者の拡大を図り、市民から求められる魅力ある講座の企画・運営に努めるとともに、市民に気持ちよく公民館を利用していただくため、施設整備の充実と適切な管理を行います。

(2) サークルの育成・活用の推進

公民館を学習の場として多くのサークルが継続的に利用しています。従来のサークルは、公民館主催の講座や教室から生まれたものが主流でしたが、近年では、共通の趣味や関心・興味を持つ人同士が集まり自主的な学習サークルを結成し、活動するものが増えています。こうしたサークルの学習活動を推進するとともに、サークル間の連携・交流を支援します。(平成30年4月1日現在で586サークル)

(3) 公民館ボランティア推進事業

公民館では、地域住民に学習の場を提供するだけでなく、サークル会員が公民館サークル等の活動で培った技術や知識を活用し、公民館主催講座等でボランティア講師として活躍していただけるよう、サークル主導型の事業を推進しています。

(4) こども体験学習セミナー

子どもたちの生活体験や自然体験など様々な体験活動や仲間づくりを支援するため「こども体験学習セミナー事業」を実施しています。

高学年の部では、子どもたちが自分達で企画・実施する体験活動を通じて「自ら学び・自ら考える力」の育成を図ることを目的とした「なりた冒険塾」を全7回に渡り開催しています。

また、低学年の部では親子のふれあいを深める機会として保護者も参加し、自然体験学習「ネイチャーゲーム」や料理教室、工場見学など親子で様々なことを体験する「親子体験学習セミナー」を全6回に渡り開催しています。



親子体験学習セミナー
「ネイチャーゲーム」

(5) 広報活動の充実

公民館活動を活発にするため、市の広報誌をはじめ、公民館だよりや各種事業のチラシ、ポスターを作成するとともに、市のホームページ及び「まなび&ボランティアサイト」を活用するなど、年間をとおして広報活動の充実を図ります。

(6) 平成30年度 公民館主催教室・講座計画

No.	教室・講座名	会場	開催時期	回数	定員	対 象
1	外国人のための日本語教室 (4クラス)	中央	4月～3月	146	200	外国人
2	日本語ボランティア養成講座	中央	4月～6月	6	16人	一般
3	親子たけのこ掘りと竹細工教室	八生	4月	1	16組	小学生と保護者
4	植木剪定教室	遠山	6月	2	20人	一般
5	親子えびがに釣り教室	公津	6月	1	15組	小学生以下の親子
6	やまもも親子広場	豊住	6月～7月	6	20組	1～4歳の子と親
7	なりた冒険塾	中央	6月～12月	7	25人	小学校4～6年生
8	親子体験学習セミナー	中央	6月～12月	6	15組	小学校低学年親子
9	歴史講座「江戸時代の村と百姓」	下総	6月	1	40人	一般
10	セカンドライフ支援セミナー	中央	7月～8月	4	20人	55歳以上
11	夏休みこども絵画教室	公津	7月～8月	3	15人	小学生
12	夏休み親子工作教室	久住	7月	1	15組	小学生と保護者
13	夏休み親子科学実験教室	中央	8月	1	30組	小学生と保護者
14	レスキューロボットカー工作教室	大栄	8月	2	25人	小学生
15	空港わくわく探検隊	中央	8月	1	18組	小学校4～6年生と保護者
16	夏休み親子蕎麦打ち教室	成田	8月	1	10組	小学生と保護者
17	夏休み子どもトールペインティング教室	豊住	8月	1	20人	小学生
18	陶芸教室	中郷	8月～10月	6	15人	一般
19	ベビーマッサージ教室	中郷	9月	3	10組	生後3ヵ月～8ヵ月の子と母
20	パン作り教室	遠山	9月	2	12人	一般
21	玉造ファミリーコンサート	玉造	9月	1	-	一般
22	中郷地区歴史散歩	中郷	10月	1	20人	一般
23	日本語ボランティアブラッシュアップ研修会	中央	10月～12月	4	40人	日本語教室ボランティア
24	大栄ふるさと文化まつり	大栄	10月～11月	1	-	一般
25	英語で遊ぼう！(2歳児)	橋賀台	11月	3	12組	2歳児と母親
26	初心者歓迎！詩吟教室	中央	11月	2	15人	一般
27	中学生！将棋教室	中央	11月～12月	3	10人	中学生
28	竹籠作り体験教室	玉造	11月	1	10人	一般
29	クリスマス飾り作り教室	八生	12月	1	15人	一般
30	外国人のための日本語教室30周年記念事業	中央	12月	1	-	日本語教室ボランティア他
31	こども生け花体験教室	八生	12月	1	20人	小学生
32	正月用生け花教室	大栄	12月	1	20人	一般
33	水墨画教室	公津	2月～3月	5	18人	一般
34	ナイトヨガ入門教室	中央	2月	3	20人	一般女性
35	健康のためのクラシックバレエ教室	玉造	2月～3月	5	15人	女性
36	歴史講座「江戸時代の新田開発と村落」	大栄	2月	1	30人	一般
37	下総サークル発表会	下総	2月～3月	1	-	一般
38	中郷地区生きがいセミナー	中郷	2月	1	-	高齢者
39	なりた郷土史セミナー(歴史ウォーキング)	中央	3月	2	20人	一般
40	大栄地区生きがいセミナー	大栄	3月	1	-	一般
41	第15回公津しだれ桜ふれあいまつり	公津	3月	2	-	一般

成田市公民館まつり 10月26日(金)、27日(土)、28日(日)

3 図書館

本館を中心に、公津の杜分館と14か所の公民館図書室等により、市内全域に図書館サービスを提供しています。市民の文化的教養を高め、情報拠点として十分に活用されるよう心がけるとともに、市民に親しまれる図書館を目指し、「読む・見る・聞く」ことができる資料の収集に努めています。

(1) 図書館サービスの充実

① 利用者の利便性の向上

図書等の自動貸出機の設置やJR成田駅への返却ポストの設置、インターネットコーナーの座席予約管理システムを導入するなど利用者の利便性の向上を図っています。本館には予約資料の貸出しをよりスムーズに行うための予約受取コーナーを設け、公津の杜分館には自動返却仕分機を設置するなど、手続きの簡素化や効率化を図っています。更には、資料の予約や、貸出期限の延長をインターネットで申し込むサービスの普及にも努めています。

② 情報提供機能の充実

地域を支える情報拠点として、市民の生活、文化、生涯学習、レクリエーションなど、各分野の課題解決を支援するための情報提供機能の充実と積極的な情報発信を図っていきます。

本館及び公津の杜分館にはインターネットコーナーを設置し、本館の参考資料室では、外部のオンラインデータベースが利用できる環境を整えています。

また、図書館ホームページには、時事問題やその時々キーワードから、簡単に関連資料が検索できる「クイックサーチ」を提供するとともに、様々な調査依頼に対して、的確かつ迅速に処理するために、過去のレファレンス事例のデータベース化にも努めています。

③ 資料の収集・整理

資料の収集・整理・除籍を積極的に行い、魅力ある蔵書構成の維持に努めています。除籍した資料は、本館のリサイクルコーナーやイベント会場などで、利用者等へ無料で配布し有効活用しています。

④ 各種講座の開催

文学講座、市史講座、及び科学あそび講座を開催し、学習機会を提供しています。

(2) 子どもの読書活動の推進

① 図書館でのおはなし会

本館では、毎週土曜日に幼児から小学生向けにおはなし会を開催しています。絵本の読み聞かせ中心の会のほか、毎月第3土曜日は、おはなし（語り）を中心にしたプログラムで行います。昔話などのおはなし（語り）では、絵本と違い絵のイメージにしばられることなく、耳から聞いたお話の世界を自由に想像し楽しむことができます。語りを聞く経験は、「言葉」による想像力を育み、読書へとつなぐ架け橋の役目も果たしてくれます。

また、乳幼児期から読書に親しむ機会を提供し、読み聞かせなどの子どもへの働きかけの重要性を保護者に理解してもらうために、「えほんとおそぼう－0・1歳のおはなしかい」及び「えほんとおそぼう－2・3歳のおはなしかい」を開催し、絵本の読み聞かせ、わらべうたあそび、絵本の紹介などを行っています。

「はるやすみ おはなしかい」及び「なつやすみ おはなしかい」は、司書とおはなしボランティアグループの共催で行い、おはなしや絵本だけでなく、小道具を使った楽しいプログラムを取り入れ、たくさん子どもたちに読書への誘導を図っています。



杜のクリスマスおはなしかい

公津の杜分館においても、月2回の定例おはなし会のほか、「杜のなつやすみおはなしかい」及び「杜のクリスマスおはなしかい」を開催し、本にふれる機会を広げています。

② 学校訪問おはなし会

多くの子どもたちに直接働きかける取組として、ボランティアの協力で、小学校を訪問して「おはなし会」を行っています。おはなしや絵本の読み聞かせ、わらべうたなどの手遊びを通じて豊かな感受性を育みながら読書に対する関心を持たせるよう働きかけ、本の紹介や、市立図書館、学校図書室のPRも行い、子どもの読書活動の推進に努めています。

③ ボランティアとの連携・支援

おはなし会等の事業を重点的に行うため、ボランティアと協力して勉強会や講座の開催に努め、研修事業なども行っています。また、小学校などで読み聞かせをするボランティアを支援するために、初心者向けの「絵本の読み聞かせ講座」を開催しています。

④ 学校図書館との連携

学校図書館司書との合同研修を実施しています。また、調べ学習に必要な資料など、学校図書館の蔵書では対応できない資料を貸出し、学校図書館の活動を支援しています。

⑤ 赤ちゃん絵本読み聞かせ

保健福祉館で実施する「赤ちゃん相談」において、赤ちゃん絵本の読み聞かせを実施しています。単なる読書推進や啓発ではなく、子育て支援という観点から、絵本やわらべうた等を通じて、保護者と乳幼児が良好な関係を結ぶサポートに努めています。

(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス

本館を中心に、公津の杜分館、公民館図書室等をサービスポイントとして市内全域にサービス網を構成し、巡回車で資料を配送しています。また、全館をオンラインで結び、迅速なサービスの提供に努めています。

平成25年に開館した公津の杜分館は、もりんぴあこうづ（公津の杜コミュニティセンター）内にあり、蔵書約11万冊を備える大型分館です。地域の新しい図書館として、子どもと子育て世代へのサービスに重点を置くとともに、高齢者にも配慮したくつろぎ空間のある閲覧スペースを設け、長時間滞在型の利用にも対応できるようにしています。

（４）障がい者サービス

身体上の理由で図書館の利用が困難な方々に対し、資料の宅配や録音図書の貸出しを行っています。また、大活字本や拡大読書器、音声読書器による読書支援や音訳協力者養成講座を実施しています。

（５）平成30年度 図書館事業計画

事業名	開催時期等	内容
図書館講座	8～12月	8月に児童講座（科学あそび）、9月に文学講座及び12月に市史講座を開催。市民の文化的教養や子どもの読書意欲を高めるための学習機会を提供します。
定例おはなし会	通年	えほんのおはなしかい：4歳～小学生対象 おはなしかい：5歳～小学生対象 0・1歳のおはなしかい：0・1歳児とその保護者対象 2・3歳のおはなしかい：2・3歳児とその保護者対象
季節のおはなし会	各1回	はるやすみ おはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象 なつやすみ おはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象 大人のためのおはなし会：16歳以上対象
杜のおはなし会	通年	定例おはなし会：ひとりできけるお子さん
	各1回	杜のなつやすみ おはなしかい：3歳～小学生とその保護者対象 杜のクリスマスおはなしかい：小学生対象
学校訪問おはなし会	随時	市内の小学校を職員とボランティアが訪問し、おはなし会を実施。日頃、親しんでいる種類や分野とは違う本にも興味を持たせ、読書の幅を広げるきっかけづくりをサポートします。
絵本の読み聞かせ講座	1回	小学校などで読み聞かせをしている人、今後活動予定の人を対象に、講座を開催します。
音訳協力者養成講座	7回	録音図書の充実や品質向上を目的とし、録音図書製作のための講座を開催します。
資料展示	通年	1階特設展示コーナーと児童展示コーナーでは、2か月ごとに図書館資料の企画展示を行います。2階展示コーナーでも郷土資料などを中心に年2～3回企画展示を行います。
蔵書点検	10月15日～10月19日	資料の円滑な活用を図るために、蔵書の一斉点検を行います。
システム更新	2月18日～2月28日	図書館コンピュータシステムの更新を行います。

4 視聴覚サービスセンター

近年急速なデジタル化・マルチメディア化へと変化している視聴覚教材・機材について、学校教育・社会教育団体等のニーズに応じ、円滑な支援を行います。また、それらに対応するための視聴覚教材や機材の整備に取り組みます。

そして、市民の生涯学習を支援し、広く市民文化の向上を図ります。

(1) 視聴覚教材・機材の整備充実と効果的な活用

視聴覚教材・機材のニーズを調査し、必要なものを計画的に整備し、市販教材や寄贈教材だけでなく、各自治体や団体の制作した教材等を発掘し、整備して貸出しができるようにしています。

① 幼児教育・学校教育

DVD機器が普及しているため、DVD教材を重点的に整備し活用を促進します。また、視聴覚機器を整備し、貸出しを行います。

② 生涯学習

DVD教材を中心に整備し活用を促進することにより、広く市民の生涯学習を支援します。

(2) 広報活動の充実と利用の促進

市内の小・中・義務教育学校や幼稚園、保育園等に教材の紹介や視聴覚教育情報を伝え、視聴覚教育の啓発・推進を図ります。映画会の案内は、「広報なりた」に随時掲載するとともに、館内や市の各施設にも掲示します。

(3) 平成30年度 視聴覚サービスセンター事業計画

① 視聴覚備品等整備事業

視聴覚教材新規購入 DVD教材・映画会用ソフト 20枚

② 映画上映事業

名 称	開 催 日	回 数
映 画 会 (一 般 向 け)	土曜日・日曜日 月1回	12回
映 画 会 (親 子 向 け)	土曜日・日曜日・県民の日等	5回
夏 休 み 親 子 映 画 会	夏休み期間	2回

資料編

成田市教育略年表

年	月	できごと
昭和29年 (1954)	3	成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の7か町村が合併して「成田市」誕生(3月31日)
昭和30年 (1955)	2	滑河町、小御門村、高岡村の1町2村が合併して「下総町」誕生(2月11日)
	4	名木小学校独立
	4	大須賀村、昭栄村の2村が合併して「大栄町」誕生(4月15日)
昭和31年 (1956)	4	長沼小学校が豊住小学校長沼分校となる
	11	成田小プール完成
昭和32年 (1957)	1	下総町の中学校統合、下総中学校設置決まる
	4	下総中学校開校式
	4	新田分校閉校し第3小学校創立、大須賀小第3分校が独立し桜田小学校となる
	9	第3小学校を川上小学校と校名改称
昭和33年 (1958)	4	学校保健法に基づき学校医、歯科医、薬剤師を委嘱
	7	成田中屋内運動場完成
昭和34年 (1959)	3	豊住小学校長沼分校廃止
	4	下総町公民館完成
昭和36年 (1961)	6	「伊能歌舞伎」が千葉県無形文化財に指定
	11	大栄町学校給食開始
昭和37年 (1962)	4	成田小第1棟校舎完成(市内初の鉄筋校舎)
昭和39年 (1964)	4	統合西中学校開校(公津校舎、八生校舎となる)
	5	「おどり花見」が県指定文化財に指定
	6	成田市青少年問題協議会発足
	6	公津公民館オープン
昭和40年 (1965)	4	龍正院本堂、千葉県文化財に指定
	9	西中校舎完成
昭和41年 (1966)	3	寺台に学校給食センター完成、4月から7小・中学校の給食開始
	4	西中成田校舎設置
昭和42年 (1967)	4	西中の成田・八生・公津校舎を廃止、西中の実質統合となる
	11	高岡小体育館完成
昭和43年 (1968)	3	公津小が旧公津中学校舎へ移転
	3	西中屋内運動場完成
	3	下総町で学校給食開始
	7	豊住小プール完成
	8	三里塚小プール完成
	9	市内全小・中学校完全給食実施
	10	小御門小屋内運動場完成
昭和44年 (1969)	2	前林小屋内運動場完成
	4	川上幼稚園開園(園児93名)
	5	成田市老人大学開校
	6	公津小プール完成
	9	滑河小屋内運動場完成
	11	川上幼稚園園舎完成

年	月	できごと
昭和45年 (1970)	2	成田中に武道場完成
	4	中郷中を廃止し、成田中へ統合
	4	成田市史編さん委員会発足
	10	名木小屋内運動場完成
昭和46年 (1971)	3	猿山字和田の砂取場からナウマンゾウの頭骨化石発掘
	4	伊能幼稚園開園(園児84名)
	7	八生小プール完成
	8	船形で宝亀5年(744)の古鐘(重要文化財)発見される
	10	防音校舎第1号三里塚小校舎完成
	11	遠山小、久住第二小、中郷小の防音校舎完成
	11	津富浦小屋内運動場完成
	12	遠山中防音校舎完成
昭和47年 (1972)	4	向台小学校開校
	7	向台小、久住第二小、中郷小、プール完成
	11	東小防音校舎完成
	12	久住第一小防音校舎完成
昭和48年 (1973)	3	公津小屋内運動場完成
	4	加良部小学校、中台中学校開校
	6	公津公民館内成田市視聴覚サービスセンターオープン
	7	遠山小、東小、久住第一小、加良部小プール完成
	10	成田市視聴覚サービスセンター運営委員会発足
昭和49年 (1974)	2	遠山中防音講堂完成
	2	滑河小防音校舎完成
	3	奈土分校を閉校して大須賀小学校へ統合
	3	小御門の森、県指定天然記念物に指定される
	6	久住中防音校舎完成
	7	三里塚小防音講堂完成
	9	学校給食センター玉造分所開設
	10	赤坂公民館オープン
	10	成田市公民館運営審議会発足
	11	大須賀小校舎完成
	12	川上小防音校舎完成
昭和50年 (1975)	3	遠山小、中郷小防音講堂完成
	4	下総町共同利用施設オープン
	4	橋賀台小学校開校
	11	久住第一小防音講堂完成
昭和51年 (1976)	2	下総中防音校舎完成
昭和52年 (1977)	3	新山小学校開校
	3	小御門小防音校舎完成
	3	前林小校舎完成
	3	川上幼稚園園舎完成
	8	新山小校舎完成

成 田 市 教 育 略 年 表

年	月	できごと
昭和52年 (1977)	11	豊住小防音校舎完成
昭和53年 (1978)	3	桜田小屋内運動場完成
	4	吾妻小学校、吾妻中学校開校
	5	成田空港開港
	7	橋賀台小プール完成
	11	豊住中防音校舎完成
昭和54年 (1979)	1	八生小屋内運動場完成
	3	久住中防音講堂完成
	3	龍正院銅造宝篋印塔、千葉県文化財に指定される
	3	大須賀小屋内運動場完成
	3	津富浦小校舎完成
	4	中央公民館オープン
	4	学校給食センター玉造分所増設
	7	向台小、加良部小、中台中屋内運動場完成
	7	新山小、吾妻小プール完成
	8	八生小、公津小新校舎完成
	9	川上小屋内運動場完成
	12	成田市就学区区域審議会発足
昭和55年 (1980)	2	橋賀台小屋内運動場完成
	3	久住第二小、豊住中防音講堂完成
	3	新山小、吾妻中屋内運動場完成
	3	高岡小防音校舎完成
	7	遠山中、西中プール完成
	7	下総中屋内運動場完成
	9	学校給食センター寺台分所廃止
	10	成田市青少年育成市民会議発足
昭和56年 (1981)	1	吾妻小屋内運動場完成
	3	東小、豊住小防音講堂完成
	4	玉造小学校開校
	6	玉造小プール完成
	7	久住中、豊住中プール完成
	10	三里塚御料牧場記念館オープン
昭和57年 (1982)	2	玉造小屋内運動場完成
	3	成田小屋内運動場完成
	3	名木小防音校舎完成
	4	中台小学校開校
	6	中台小、中台中、吾妻中プール完成
昭和58年 (1983)	4	久住公民館、橋賀台公民館オープン
	4	大須賀中学校と昭栄中学校を統合し、大栄中学校として開校する
	7	老人大学校オープン
	7	第1回成田市公民館まつり開催
昭和59年 (1984)	3	成田中新校舎完成
	3	滑河小屋内運動場完成
	4	玉造公民館、豊住公民館オープン
	10	成田市立図書館オープン
昭和60年 (1985)	4	神宮寺小学校、玉造中学校開校
	6	成田公民館オープン

年	月	できごと
昭和60年 (1985)	8	桜田小校舎完成
	12	小御門小屋内運動場完成
昭和61年 (1986)	4	津富浦小屋内運動場完成
	11	寺台河岸跡が市指定文化財に指定される
昭和62年 (1987)	2	取香の三番叟が県指定文化財に指定される
	11	2台目の移動図書館「こぼと号」運行
昭和63年 (1988)	4	八生公民館オープン
	4	第1回青少年綱引き大会開催
	12	高岡小屋内運動場完成
平成元年 (1989)	1	元号「平成」となる
	3	新公津公民館・中郷公民館オープン
	8	大栄中プール完成
平成2年 (1990)	2	名木小学校体育館完成
	4	平成小学校開校
	4	大栄町学校給食センター完成
	6	下総町学校給食センター完成
	10	新移動図書館「なかよし号」が「ひかり号」に代わって巡回開始
平成3年 (1991)	4	加良部公民館オープン
	10	美郷台地区会館オープン
	10	下総町多目的ホール完成
	11	大栄町コミュニティプラザホール(現大栄公民館)完成
平成4年 (1992)	2	大慈恩寺所有の古文書が県の有形文化財に指定
	8	名木小プール完成
	9	学校週五日制(第二土曜日休み)開始
平成5年 (1993)	4	本城小学校開校
平成6年 (1994)	3	竜台の百康申を市の文化財に指定
	11	成田市文化財保護協会が創立40周年記念式典を開催
	12	「図説成田の歴史」刊行
平成7年 (1995)	2	下総歴史民俗資料館完成
平成8年 (1996)	3	伊能幼稚園、川上幼稚園が統合し大栄幼稚園開園
	5	遠山公民館オープン
	10	遠山公民館内に市民課分室設置
平成9年 (1997)	2	前林小校舎大規模改修工事完成
	4	米飯給食に成田産自主流通米導入
	7	小御門小プール完成
	9	適応指導教室「ふれあいるーむ21」オープン
平成10年 (1998)	2	津富浦小校舎大規模改修・増築工事完成
	4	成田市教育センターオープン
平成11年 (1999)	7	長興院山門、石橋家の住宅門・南の蔵・東の蔵・土蔵などが文部大臣指定の登録文化財に指定

成 田 市 教 育 略 年 表

年	月	で き ご と
平成12年 (2000)	3	「成田市生涯学習推進計画」策定
	4	教育委員会が教育総務部と生涯学習部の2部制に
	9	西中新校舎完成
平成13年 (2001)	10	学校評議員制度開始
	2	前林小屋内運動場完成
	3	「成田市学校教育長期ビジョン」策定
平成14年 (2002)	10	「成田市子ども夢基金」設立
	3	西中屋内運動場完成
平成15年 (2003)	5	構造改革特別区域法の国際教育推進特区に認定される
平成18年 (2006)	3	成田市、下総町、大柴町の1市2町が合併して新「成田市」誕生(3月27日)
	4	公津の杜小学校開校
平成19年 (2007)	3	久住中学校新校舎完成
	4	美郷台小学校開校
	5	生涯大学の新たな校舎が囲護台に開校、旧校舎は生涯学習会館と名称変更
平成21年 (2009)	2	「龍角寺古墳群・岩屋古墳」国史跡に指定
	3	豊住中学校が61年の歴史に幕、成田中学校へ統合
	9	重要文化財南羽鳥1遺跡出土人頭型土製品が大英博物館で展示される
平成22年 (2010)	3	中学校の普通教室にエアコンを整備
平成23年 (2011)	3	小学校の普通教室にエアコンを整備
	3	久住第一小学校と久住第二小学校が閉校、両校が統合し新たに久住小学校として開校
	3	中郷小学校が閉校し、美郷台小学校へ統合
	8	市史講座「成田の地名と歴史」刊行記念講演会開催
平成25年 (2013)	4	公津の杜中学校開校
	4	公津の杜中学校学校給食共同調理場供用開始
	7	もりんぴあこづオープン
平成26年 (2014)	7	成田市立図書館 公津の杜分館オープン
	1	成人式を成田空港で開催
	3	東小学校が閉校し、遠山小学校へ統合
	3	下総地区4小学校(滑河小学校、小御門小学校、名木小学校、高岡小学校)が閉校
平成27年 (2015)	4	下総地区4小学校を統合した下総小学校が成田市初の「小中一貫教育校 下総みどり学園」として開校
	4	本城小学校学校給食共同調理場供用開始
平成28年 (2016)	10	新たな教育委員会制度における教育長が選任される
平成28年 (2016)	4	佐倉市、香取市、銚子市とともに、「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として、日本遺産の認定を受ける

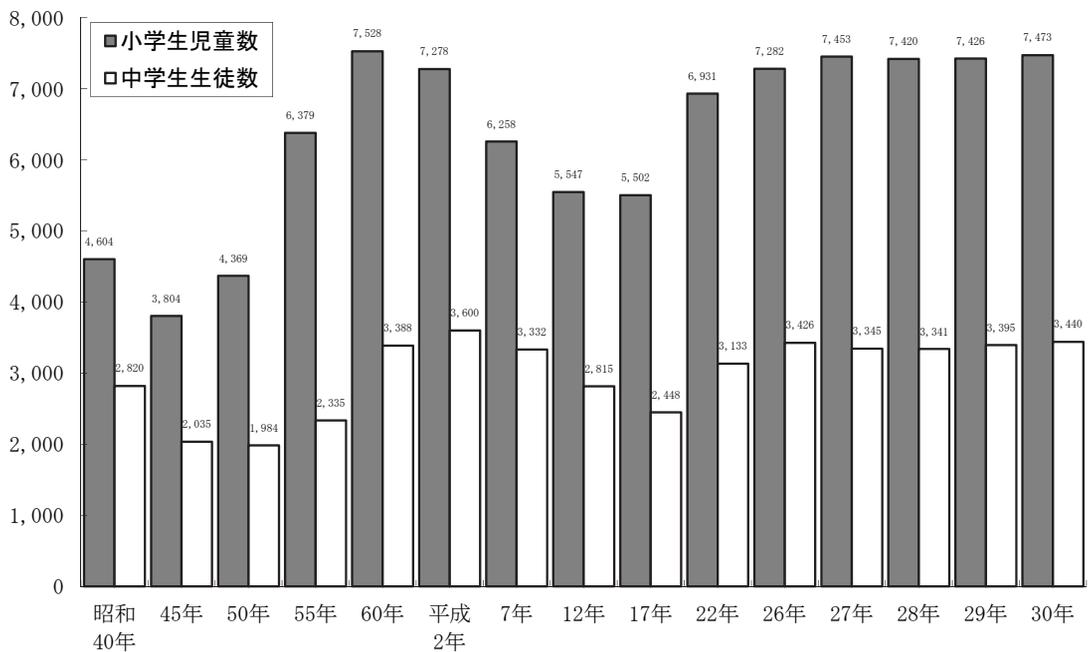
年	月	で き ご と
平成28年 (2016)	4	公津の杜小学校学校給食共同調理場供用開始
	7	旧名木小学校が生活介護事業所「ネクスト名木小」としてオープン
平成29年 (2017)	4	「小中一貫教育校 下総みどり学園」が「義務教育学校 成田市立下総みどり学園」へ移行
	4	旧豊住中学校が「豊住ふれあい健康館」としてオープン

歴代教育長及び教育委員 平成30年10月1日現在

氏名	委員在任期間	備考(役職)	氏名	委員在任期間	備考(役職)
渡邊 由松	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30	委員長 S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30	三橋 成一	H 7. 10. 1 ~ H 8. 8. 20	教育長 H 7. 10. 1 ~ H 8. 8. 20
葛生清三郎	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30		太田 家廣	H 8. 9. 12 ~ H10. 5. 25	教育長 H 8. 9. 12 ~ H10. 5. 25
佐瀬三五郎	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30		荒井 清	H 8. 10. 1 ~ H23. 3. 31	"委員長 H10. 10. 1 ~ H17. 9. 30 委員長 H18. 10. 6 ~ H23. 3. 31"
神崎 正	S29. 4. 27 ~ S31. 9. 30		大木 みわ	H 8. 10. 1 ~ H16. 9. 30	
豊田 操	S29. 5. 26 ~ S30. 9. 30	教育長 S29. 5. 26 ~ S30. 9. 30	塚本 倫正	H 9. 10. 1 ~ H13. 9. 30	
松岡 明	S29. 5. 20 ~ S30. 3. 30		鬼澤 佳弘	H10. 7. 1 ~ H13. 6. 30	教育長 H10. 7. 1 ~ H13. 6. 30
行方富太郎	S31. 10. 1 ~ S32. 9. 30	教育長 S31. 10. 1 ~ S32. 9. 30	伊藤 睦	H10. 10. 1 ~ H18. 9. 30	委員長 H17. 10. 1 ~ H18. 9. 30
橘 昌夫	S31. 10. 1 ~ S47. 9. 30	委員長 S31. 10. 1 ~ S47. 9. 30	藤野 公之	H13. 7. 1 ~ H16. 6. 30	教育長 H13. 7. 1 ~ H16. 6. 30
岩沢 多門	S31. 10. 1 ~ S38. 9. 30		加瀬間俊勝	H13. 10. 1 ~ H15. 1. 20	
吉岡栄一郎	S31. 10. 1 ~ S47. 9. 30		山口 恵子	H15. 2. 19 ~ H25. 9. 30	
鈴木 勘	S31. 10. 1 ~ S33. 4. 17		大須賀久大	H16. 7. 1 ~ H20. 4. 30	教育長 H16. 7. 1 ~ H20. 4. 30
太田 家倚	S32. 10. 1 ~ S44. 9. 30	教育長 S32. 10. 1 ~ S44. 9. 30	小川 信子	H16. 10. 1 ~ H24. 9. 30	委員長 H23. 4. 27 ~ H24. 9. 30
野平 吉衛	S33. 10. 1 ~ S37. 9. 30		秋山 皓一	H18. 10. 1 ~ H26. 9. 30	委員長 H24. 10. 1 ~ H26. 9. 30
竹尾クラ子	S37. 10. 1 ~ S39. 10. 20		関根 賢次	H20. 6. 7 ~ H21. 6. 30	教育長 H20. 6. 7 ~ H21. 6. 30
檜垣 省吾	S38. 10. 8 ~ S42. 5. 9		佐藤 玉江	H21. 7. 1 ~ H25. 3. 31	教育長 H21. 7. 1 ~ H25. 3. 31
藤崎 光枝	S40. 3. 24 ~ S44. 9. 26		小川新太郎	H23. 6. 18 ~ 現 在	委員長 H26. 10. 1 ~ H27. 9. 30
檜垣 篤	S42. 7. 1 ~ H 4. 11. 30	教育長 S58. 4. 1 ~ H 4. 11. 30	高木久美子	H24. 10. 1 ~ 現 在	
渋谷 榮一	S44. 9. 27 ~ H 2. 9. 30	委員長 S47. 10. 1 ~ H 2. 9. 30	関川 義雄	H25. 4. 1 ~ H27. 9. 30	教育長 H25. 4. 1 ~ H27. 9. 30
阿波寄武夫	S44. 10. 1 ~ S61. 10. 14	教育長 S44. 10. 1 ~ S58. 3. 31	福田 理絵	H25. 10. 1 ~ H29. 9. 30	
山田 喜一	S47. 10. 1 ~ S55. 9. 30		佐藤 勲	H26. 10. 1 ~ 現 在	
渡邊 義男	S47. 10. 1 ~ H 8. 9. 30	委員長 H 2. 10. 1 ~ H 8. 9. 30	片岡 佳苗	H29. 10. 1 ~ 現 在	
谷 重吉	S55. 10. 1 ~ H 8. 9. 30				
石原 芳文	S61. 12. 9 ~ H 9. 9. 30				
越川 重	H 2. 10. 1 ~ H10. 9. 30	委員長 H 8. 10. 3 ~ H10. 9. 30			
中村 欽哉	H 4. 12. 22 ~ H 7. 9. 30	教育長 H 4. 12. 25 ~ H 7. 9. 30			

制度改正(平成27年4月1日施行)後に選任された教育長		
氏名	在任期間	就任日
関川 義雄	H27. 10. 1 ~ 現 在	H27. 10. 1

市立学校の児童生徒数の推移 平成30年5月1日現在



小学校児童数及び中学生生徒数には、それぞれ義務教育学校の前期課程及び後期課程の数を含む。

市立学校・幼稚園一覧

平成30年5月1日現在

学校名	所在地	電話	児童数	学級数	教職員数	校長名	PTA 会長名
成田小学校	幸町948番地1	22-1334	725	27	40	藤井 大介	藤倉 健
遠山小学校	小菅1411番地	35-0022	56	7	11	橋村 昌樹	龍崎 正和
三里塚小学校	本三里塚153番地1	35-0049	430	17	29	鈴木 克之	中村 修
久住小学校	久住中央3丁目12番地1	36-0006	388	17	25	藤田 総	荒居 健司
豊住小学校	北羽鳥1985番地2	37-0004	42	6	10	石川 智彦	日暮 義之
八生小学校	松崎1468番地	26-8038	62	8	14	渡邊 秀子	相羽 昌孝
公津小学校	台方851番地	26-2467	123	8	14	三上 勝	飯嶋 聡
向台小学校	中台3丁目6番地	26-4812	280	14	19	斎藤多賀子	赤川章太郎
加良部小学校	加良部6丁目8番地	26-3517	629	23	33	佐藤 浩	菅原 偉雄
橋賀台小学校	橋賀台3丁目4番地	27-2531	227	10	20	根本 達也	石井 一彦
新山小学校	加良部4丁目23番地	26-6767	203	10	16	半田 康	齋藤 一憲
吾妻小学校	吾妻2丁目6番地	27-9060	826	29	38	濱本 一夫	安部 真司
玉造小学校	玉造3丁目4番地	28-3133	308	14	24	宮島 孝仁	中島伸太郎
中台小学校	中台1丁目4番地	27-0753	184	9	17	鈴木 和男	岩館 司
神宮寺小学校	玉造5丁目28番地	26-3677	195	9	17	星 秀光	赤海 秀治
平成小学校	飯仲50番地1	22-1361	535	20	28	石川 昭代	小倉 和幸
本城小学校	本城178番地1	35-5533	365	17	24	内田 仁志	名輪ゆかり
大須賀小学校	伊能547番地	73-2255	55	7	13	鈴木 弘之	椿 貴志
桜田小学校	桜田941番地	73-3232	108	8	14	村田 正志	北野 和博
前林小学校	前林430番地	73-3344	62	7	12	町田 幸彦	萩原 紀充
津富浦小学校	津富浦1093番地	73-2277	90	8	14	佐藤 広幸	椎名 明子
川上小学校	多良貝245番地308	73-3434	125	8	13	増田 正之	小島 昇
公津の杜小学校	公津の杜3丁目2番地	29-7770	855	30	44	江邨 一男	高橋 一能
美郷台小学校	美郷台2丁目19番地1	23-6011	343	15	22	櫻井 正美	中野 健一
下総みどり学園 (前期課程)	名古屋1214番地	96-0135	257	15	25	藤崎 修治	菅澤 喜弘
小 学 校 計		—	7,473	343	536	—	

※小学校には、義務教育学校の前期課程を含める。

学校名	所在地	電話	生徒数	学級数	教職員数	校長名	PTA 会長名
成田中学校	土屋928番地1	22-0304	502	17	33	日暮美智子	渡邊 昌美
遠山中学校	大清水19番地	35-0128	378	15	28	佐々木英夫	高根 純一
久住中学校	久住中央2丁目1番地	36-0602	115	6	17	松岡 薫	布留川正明
西中学校	加良部5丁目11番地	26-2606	562	21	40	中條 専一	長島 崇博
中台中学校	中台4丁目2番地	26-4201	246	11	24	谷 輝昭	高木 昭夫
吾妻中学校	吾妻1丁目24番地	26-6167	366	14	28	川崎 秀雄	前田 憲一
玉造中学校	玉造3丁目7番地	27-0677	288	11	24	濱谷 昌人	増田 浩一
大栄中学校	伊能125番地	73-4820	236	9	21	阿部 光雄	高橋 輝行
公津の杜中学校	公津の杜5丁目29番地	20-5511	611	19	37	小川 昌俊	石川 智
下総みどり学園 (後期課程)	名古屋1214番地	96-0135	136	8	21	藤崎 修治	菅澤 喜弘
中 学 校 計		—	3,440	131	273	—	

※中学校には、義務教育学校の後期課程を含める。

幼稚園名	所在地	電話	園児数	学級数	教職員数	園長名	PTA 会長名
大栄幼稚園	臼作115番地	73-8005	163	6	9	鈴木真理子	植松 和孝

※上表のうち、校長名は平成30年5月28日現在。

社会教育施設一覧

平成30年4月1日現在

施設名	所在地	電話番号	延床面積
中央公民館	赤坂1丁目1番地3	27-5911	2,578㎡
公津公民館	宗吾1丁目839番地1	26-9610	556㎡
久住公民館	幡谷922番地2	36-1646	552㎡
橋賀台公民館	橋賀台1丁目43番地1	26-9695	532㎡
玉造公民館	玉造7丁目21番地	26-3644	550㎡
豊住公民館	北羽鳥2024番地1	37-1003	549㎡
成田公民館	田町299番地2	24-0787	1,603㎡
八生公民館	松崎317番地	27-1533	554㎡
中郷公民館	赤荻1587番地1	22-4614	551㎡
加良部公民館	加良部3丁目4番地1	28-7961	542㎡
遠山公民館	大清水48番地7	35-0600	1,000㎡
下総公民館	高岡1435番地	96-0090	2,489㎡
大栄公民館	松子393番地	73-7071	2,706㎡
成田市立図書館	赤坂1丁目1番地3	27-2000	5,179㎡
視聴覚サービスセンター	赤坂1丁目1番地3	27-2533	(558㎡)
成田市立図書館公津の杜分館	公津の杜4丁目8番地	27-7100	1,011㎡
三里塚御料牧場記念館	三里塚御料1番地34	35-0442	422㎡
下総歴史民俗資料館	高岡1500番地	96-0080	666㎡
生涯大 학교	囀護台1385番地6	20-3339	551㎡
生涯学習会館	花崎町523番地1	22-3958	332㎡
美郷台地区会館	美郷台3丁目3番地9	24-4352	605㎡

学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧 平成30年10月1日現在

学校名	学校医			学校歯科医	学校薬剤師	
	内科 (*相談医)	耳鼻科	眼科			
成田小学校	大田 暁 (健康管理医) 藤倉 國男 長谷川 修 小田 優子	池宮城慶寛	土井 靖子	日暮 俊久 中村 始治 日暮 寛之 中村 諸岡	大徳 秀幸	
遠山小学校	* 太田不二雄	橘 昌利	土井 靖子	岡本 英彦	鈴木 廣邦	
三里塚小学校	* 平野 憲朗 伊藤 眞綱 小倉 宏道	山本陸三朗	加部東武徳	中村 始 藤崎 芳明 萩原 領一	鈴木 廣邦	
久住小学校	* 菅谷 芳樹 牧瀬 敏裕	池宮城慶寛	伊豫田 稔	大野文之助 田中 和典	眞鍋 知史	
豊住小学校	* 平野 憲朗	橘 昌利	加部東武徳	大野文之助	平間多美代	
八生小学校	* 京増 芳則	池宮城慶寛	加部東武徳	榮 洋子	平間多美代	
公津小学校	* 木下 由彦	橘 昌利	保津 治道	平田 収	宍倉 清	
向台小学校	* 安 徳純 川邊 成	橘 昌利	保津 治道	諸岡 治 栗田 隆史	三橋 恒子	
加良部小学校	黄 重毅 (健康管理医) 里見 久恵 渡辺 智之 黒田 央文	山本陸三朗	加部東武徳	平田 収 永井 和広 阿部 祐幸 萩原 領一	長岡美裕紀	
橋賀台小学校	* 渡邊 剛毅 内山 明江	山本陸三朗	保津 治道	斎藤 憲一 萩原 大輔	木内 規之	
新山小学校	* 安 徳純 塚田 雄大	山本陸三朗	保津 治道	大木 康有 萩原 大輔	宍倉 弘記	
吾妻小学校	鳥居 敏明 (健康管理医) 國保 能彦 立花智津子 小倉 宏道 菅谷 芳樹	池宮城美由子	加部東武徳	野澤 隆之 齊藤 政治 石坂 拓也 阿部 智之 新井 孝男	伊藤 雅代	
玉造小学校	* 小田 龍二 尾崎 晴彦	池宮城美由子	土井 靖子	鳥山 栄 鈴木 正徳	伊藤 雅代	
中台小学校	* 中島 正之	池宮城美由子	土井 靖子	池田 信子	板谷 徹	
神宮寺小学校	* 片岡 満男 小田 龍二	池宮城美由子	保津 治道	林田 弘毅 伊東総一郎	板谷 徹	
平成小学校	* 内山 明江 石神 博昭 里見 久恵	橘 昌利	保津 治道	藤田 美之 野内 一嘉 小出 正義	宍倉 清	
本城小学校	* 麻野 次男 大田 暁	山本陸三朗	土井 靖子	岡田 秀彦 高橋 洋樹	鈴木美知代	
大須賀小学校	* 吉田 博美	橘 昌利	土井 靖子	鳥山 栄	木下 将	
桜田小学校	* 吉田 博美	橘 昌利	土井 靖子	小太刀真人	木下 将	
前林小学校	* 根本 明久	山本陸三朗	加部東武徳	小太刀真人	木内 茂喜	
津富浦小学校	* 岡崎 亘裕	橘 昌利	土井 靖子	入田 雅之	遠藤 喜成	
川上小学校	* 牧瀬 敏裕	山本陸三朗	加部東武徳	藤崎 芳明	木内 茂喜	
公津の杜小学校	黒田 央文 (健康管理医) 木下 由彦 中町 裕 伊藤けい子 鈴木ティベリユウ浩志	橘 昌利	保津 治道	伊藤 健二 日暮 寛之 青柳 和孝 阿部 智之 大野 康央	長岡美裕紀	
美郷台小学校	* 木内宗三郎 小倉 一久	池宮城慶寛	土井 靖子	鈴木 正徳 伊東総一郎	石井 通子	
成田中学校	* 藤倉 國男 石原 輝英 長谷川 修	池宮城慶寛	伊豫田 稔	日暮 俊久 岡本 英彦 栗田 隆史	大徳 秀幸	
遠山中学校	* 伊藤 眞綱 太田不二雄	橘 昌利	土井 靖子	角田 幸弘 渡部 一郎	鈴木美知代	
久住中学校	* 小倉 一久	池宮城慶寛	伊豫田 稔	大野 康央	眞鍋 知史	
西中学校	石神 博昭 (健康管理医) 石川 鋭 櫻田 正也	山本陸三朗	保津 治道	永井 和広 榮 洋子 富澤 圭一	木内 規之	
中台中学校	* 立花 浩幸 渡邊由希子	池宮城美由子	土井 靖子	萩原 研一 高橋 洋樹	三橋 恒子	
吾妻中学校	* 川島 明 中島 正之	池宮城美由子	加部東武徳	岩松 晃弘 石坂 拓也	宍倉 弘記	
玉造中学校	* 國保 能彦 尾崎 晴彦	池宮城美由子	加部東武徳	大森 基夫 野内 一嘉	三橋 恒子	
大栄中学校	* 吉田 博美 岡崎 亘裕	山本陸三朗	土井 靖子	伊藤 健二 岡田 秀彦	木内 茂喜	
公津の杜中学校	* 渡邊 剛毅 木内宗三郎 中町 裕 黄 重毅	橘 昌利	保津 治道	藤田 美之 青柳 和孝 齊藤 政治 岩松 晃弘	宍倉 弘記	
下総みどり学園	前期 後期	矢野 潔 (健康管理医) 根本 明久	池宮城慶寛	伊豫田 稔	川畑 恵一 角田 幸弘	金子 泰史
	後期	根本 明久	池宮城慶寛	伊豫田 稔	川畑 恵一	金子 泰史
大栄幼稚園	* 牧瀬 敏裕	池宮城慶寛	土井 靖子	入田 雅之	鈴木美知代	

市内指定文化財等一覧

平成30年4月1日現在

国指定文化財一覧 (重要文化財)

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	竜正院仁王門	滑川	龍正院	元禄5.5.24	1棟	室町時代中頃の建築
2	"	旧御子神家住宅	大竹	千葉県	昭和44.6.20	1棟	房総のむらへ移築復元、安永8年(1779)建立
3	"	旧学習院初等科正堂	大竹	千葉県	昭和48.6.2	1棟	房総のむらへ移築復元、明治32年(1899)建立
4	"	新勝寺	成田	新勝寺	昭和55.5.31	5棟	元禄の旧本堂、元禄14年(1701)建立 安政の旧本堂、安政5年(1858)建立 正徳2年(1712)建立 文政13年(1830)建立 文久元年(1861)建立
		(光明堂)					
		(积迦堂)					
		(三重塔)					
		(仁王門)					
5	彫刻	木造不動明王及二童子像	成田	新勝寺	昭和39.5.28	3軀	新勝寺の本尊
6	書跡	住吉物語	田町	成田山仏教図書館	昭和43.4.25	1帖	鎌倉時代中期の擬古物語
7	考古資料	南羽鳥中軸1遺跡土坑出土品	栄町	成田市	平成15.5.29	一括	人頭形土製品をはじめ縄文時代前期の土器・耳飾り・垂飾品など。千葉県立房総のむら等にて展示
8	史跡	龍角寺古墳群・岩屋古墳	大竹他	国・千葉県・栄町・成田市・個人	平成21.2.21		追加指定・名称変更(岩屋古墳：昭和16.1.27)

(登録有形文化財)

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	長興院山門	伊能	長興院	平成11.7.8	1棟	木造楼門、瓦葺、建築面積22㎡
2	"	石橋家住宅門	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	木造平屋建、瓦葺、建築面積5㎡
3	"	石橋家住宅南の蔵	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積31㎡
4	"	石橋家住宅東の蔵	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積30㎡
5	"	石橋家住宅土蔵	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積40㎡
6	"	大野屋旅館	仲町	個人	平成17.2.9	1棟	木造3階建、スレート葺、建築面積603㎡、望楼付
7	"	一粒丸三橋薬局店舗	仲町	個人	平成22.1.15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積63㎡
8	"	一粒丸三橋薬局土蔵	仲町	個人	平成22.1.15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積42㎡

県指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	龍正院本堂 附 厨子一基	滑川	龍正院	昭和40.4.27	1棟	元禄11年(1698)建立
2	"	旧平野家住宅	大竹	千葉県	昭和47.1.28	1棟	房総のむらへ移築復元、江戸中期末の民家
3	"	龍正院銅造宝篋印塔 附 銅造棟札1枚	滑川	龍正院	昭和54.3.2	1基	享保3年(1718)鋳造の棟札
4	彫刻	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	大竹	円光寺	昭和57.4.6	3軀	延慶2年(1309)銘
5	"	木造薬師如来坐像	船形	薬師寺	平成4.2.28	1軀	鎌倉時代の作
6	"	木造阿弥陀如来及び両脇侍像	冬父	迎接寺	平成5.2.26	3軀	平安時代末～鎌倉時代の作
7	"	木造金剛力士立像	船形	薬師寺	平成10.3.20	2軀	鎌倉時代の作
8	工芸	半円方格帯変形神獸鏡	土屋	成田山靈光館	昭和43.4.26	1面	下方、浅間下の通称丸塚より出土
9	"	梵鐘	土室	祥鳳院	昭和44.1.10	1口	乾元2年(1303)銘
10	"	梵鐘	宗吾	東勝寺	昭和48.3.2	1口	応長元年(1311)銘
11	"	梵鐘	吉岡	大慈恩寺	昭和49.3.19	1口	延慶3年(1310)銘
12	"	鑄銅雲版	台方	超林寺	昭和52.3.8	1面	応永15年(1408)銘
13	"	鑄造鰐口	高岡	成田市	昭和57.4.6	1口	永正13年(1516)銘
14	古文書	天正検地帳 (下総国香取郡遠山之庄御縄水帳) (下総国香取郡金山郷御縄打之水帳)	赤坂	成田市	昭和57.4.6	2冊	天正19年(1591)の検地帳
15	考古資料	新勝寺板石塔婆	成田	新勝寺	昭和34.4.24	2基	下総式板碑延元元年(1336)、明德5年(1394)銘
16	"	猫作・栗山古墳群 第16号墳副葬品	高岡	成田市	平成6.2.22	一括	石枕3点、立花15点ほか
17	"	木の根遺跡出土土偶	栄町	千葉県	平成8.3.22	7点	
18	"	三里塚 No.55 遺跡出土旧石器時代石器	栄町	千葉県	平成8.3.22	一括	
19	歴史資料	大慈恩寺宝物類	吉岡	大慈恩寺	平成5.2.26	73点	古文書類51点、絵画19点、金銅装箱3点
20	無形文化財	武術 天真正伝香取神道流	下福田	大竹利典	昭和60.11.29		平成21.3.17名称変更
21	"	武術 天真正伝香取神道流	下福田	大竹信利	平成16.3.30		平成21.3.17名称変更
22	有形民俗文化財	迎接寺 鬼舞面 菊紋 附衣装11点 附桐箱	冬父	迎接寺	昭和29.12.21		

県指定文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考	
23	有形民俗文化財	新勝寺絵馬類	土屋	成田山霊光館	昭和38. 5. 4	22面		
		(繫馬の図)						谷文晁筆 天保2年奉納
		(祐天上人御利生の図)						一勇齋国芳筆 安政3年奉納
		(暫の図)						新川齋万太郎筆 文政6年奉納
		(石橋の図)						歌川豊国筆 文化11年奉納
		(花雲鐘入月の図)						鳥井清満筆 天保8年奉納
		(矢の根五郎の図)						香蝶楼国貞筆 文政8年奉納
		(市村座芝居番付の図)						鳥井清満筆 文政6年奉納
		(新発意太鼓の図)						鳥井清満筆 嘉永3年奉納
		(蘭陵王の図)						谷文晁筆 文政9年奉納
		(サークスの図)						陵高筆 明治35年奉納
		(大森彦七鬼女と争うの図)						惺々暁齋筆 明治13年奉納
		(夜討曾我の図)						一勇齋国芳筆 安政3年奉納
		(市原野の図)						沖一峨筆 天保4年奉納
		(韓信股くぐりの図)						長谷川雪旦筆 天保6年奉納
		(水滸伝中の人物の図)						一勇齋国芳筆 天保13年奉納
		(西王母の図)						波藍筆 文政7年奉納
		(火消千組の図)						一勇齋国芳筆 天保4年奉納
(牧童の図)						大西椿年筆 天保9年奉納		
(関流正統後藤政紀の算額)						明治2年奉納		
(成田山の書額)						徹齋筆 年不明		
(四季混雑狂歌の額)						宿屋飯盛一派 文政4年奉納		
(せったい所の招牌)						七代目団十郎 文政4年奉納		
24	"	成田の商業用具	土屋	成田山霊光館	昭和50. 12. 12	100点	成田山講社定宿の看板ほか	
25	"	楽満寺の安産子育て祈願資料	中里	楽満寺	平成29. 3. 7	4件42点	板絵馬19点、ガラス絵馬19点、厨子2点、版木2点	
26	無形民俗文化財	成田のおどり花見	成田	成田おどり花見会	昭和39. 4. 28		国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり	
27	"	取香の三番叟	取香	取香三番叟保存会	昭和62. 2. 27		毎年4月第1土曜日に演じられる	
28	史跡	小野派一刀流流祖小野次郎右衛門忠常墓	寺台	永興寺	昭和18. 4. 30		小野派一刀流流祖・開祖の墓	
29	"	八代玉作遺跡	玉造	成田市	昭和41. 12. 2		管玉を主とした古代玉作遺跡	
30	"	公津原古墳群	ニュータウン他	成田市	平成2. 3. 16	40基	5世紀～7世紀の築造	
31	天然記念物	小御門神社の森	名古屋	小御門神社	昭和49. 3. 19		16, 881㎡	
32	"	麻賀多神社の森	台方	麻賀多神社	昭和52. 3. 8		6, 386㎡の社叢林	

市指定文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考
1	建造物	薬師堂	上町	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	明暦の旧本堂 明暦元年(1655) 建立
2	"	鐘楼	成田	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	元禄14年(1701) 建立
3	"	一切経堂	成田	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	享保7年(1722) 建立
4	"	清滝権現堂	成田	新勝寺	昭和44. 11. 3	1棟	享保17年(1732) 建立
5	"	石造多層塔	大竹	円光寺	昭和44. 11. 3	1基	七層の石塔 応永10年(1403) 銘
6	"	麻賀多神社本殿	台方	麻賀多神社	昭和46. 11. 3	1棟	寛文13年(1673) 建立
7	"	輪転経蔵	成田	新勝寺	昭和47. 11. 3	1棟	享保年間の建造か
8	"	龍正院宝篋印塔群	滑川	龍正院	昭和54. 3. 1	11基	慶長4年(1599)～寛永11年(1634)
9	"	山王社(本殿)	奈土	昌福寺	昭和49. 6. 25	1棟	
10	絵画	絹本着色阿弥陀三尊来迎図	郷部	観音堂宝物保存会	平成10. 12. 25	1幅	江戸時代初期の作
11	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	土屋	薬王寺	昭和44. 11. 3	1躯	鎌倉時代の作
12	"	木造延命地藏菩薩立像	幡谷	延命院	昭和45. 11. 3	1躯	鎌倉時代の作
13	"	十一面観世音菩薩像	稲荷山	個人	昭和55. 5. 12	3躯	中国「唐」時代の渡来仏か
14	"	木造聖観音坐像	寺台	永興寺	昭和60. 2. 1	1躯	応永6年(1399) 銘
15	"	木造観音菩薩立像	土室	土室台郭観音様会	平成1. 12. 20	1躯	南北朝時代の作
16	"	木造虚空蔵菩薩坐像	江弁須	正蔵院	平成10. 3. 27	1躯	南北朝時代の作
17	"	銅造十一面観音菩薩像	村田	耕田寺	平成2. 3. 9	1躯	南北朝時代の作
18	"	昌福寺欄間	奈土	昌福寺	平成15. 2. 4	11面	元禄年間の作

市指定文化財

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考
19	彫 刻	木造地藏菩薩坐像	新駒井野	高 福 寺	平25. 3. 25	1軀	13世紀後半の作
20	"	木造薬師如来坐像	成 田	新 勝 寺	平26. 8. 26	1軀	12世紀前半の作
21	工 芸	懸 仏	大 竹	観 行 院	昭47. 11. 3	1面	紀年銘なし
22	"	保目神社の懸仏	寺 台	寺宝 保目神社 宝物 保存会	平13. 12. 4	1面	室町時代の作か
23	書 跡	国学者鈴木雅之の著書	田 町	成田山仏教図書館	昭44. 11. 3	79点	民政要論略篇ほか
24	"	高 札	土 屋	成 田 山 靈 光 館	昭44. 11. 3	7点	邪宗門禁止の高札ほか
25	"	版 木	土 屋	成 田 山 靈 光 館	昭44. 11. 3	56点	幕末の歌人神山魚貫「苔清水」の版木
26	"	幡 谷 家 文 書	赤 坂	成 田 市	昭47. 11. 3	一括	北条氏政・氏直の文書ほか
27	考古資料	板 石 塔 婆	宗 吾	東 勝 寺	昭44. 11. 3	2基	下総式板碑 康永元年(1342) 銘
28	"	硬 玉 製 大 勾 玉	幸 町	個 人	昭44. 11. 3	1個	郷部出土コの字形勾玉
29	"	平 貞 胤 供 養 碑	台 方	超 林 寺	昭45. 11. 3	1基	観応2年(1351) 銘
30	"	経 筒	土 屋	成 田 山 靈 光 館	昭44. 11. 3	1基	大永8年(1528) 銘
31	"	弥 生 式 土 器	土 屋	成 田 山 靈 光 館	昭44. 11. 3	1基	南関東系弥生式土器
32	"	竜角寺出土文字瓦	土 屋	成 田 山 靈 光 館	昭44. 11. 3	2枚	「朝布」「加刀利」へら書
33	"	八代玉作遺跡出土品	土 屋	成 田 山 靈 光 館	昭45. 11. 3	一括	管玉の製作工程を示す遺物ほか
34	"	大和田玉作り資料	高 岡	成 田 市	昭54. 3. 1	18ヶ-ス	古墳時代中期の玉類製作工程を示す資料
35	"	板 碑 群	吉 岡	大 慈 恩 寺	平 2. 3. 9	27基	南北朝～室町時代の下総型板碑群
36	"	南羽鳥正福寺遺跡 第1地点1号墳出土埴輪	高 岡	成 田 市	平13. 12. 4	一括	ムササビ形をはじめとする形象埴輪や円筒埴輪
37	歴史資料	伊 能 図 (中 図)	田 町	成田山仏教図書館	平 8. 3. 19	8枚	大きいもので縦8尺6寸横4尺 小さいもので縦4尺8寸横4尺2寸
38	"	算 額	中 里	楽 満 寺	平29. 7. 25	1点	算額絵馬
39	有形民俗文化財	竜 台 の 百 庚 申	竜 台	竜台百庚申保存会	平 6. 3. 15	100基	宝暦2年(1752)～安政6年(1777) 銘あり
40	"	紙本著色地藏十王図	郷 部	観音堂宝物保存会	平10. 12. 25	11幅	江戸時代中期の作
41	無形民俗文化財	台方麻賀多神社神楽	台 方 下 方	麻賀多神社神楽 保存会	昭50. 10. 6		毎年7月最終日曜日に演じられる
42	"	北羽鳥香取神社獅子舞	北 羽 鳥	北羽鳥香取神社 獅子舞保存会	昭50. 10. 6		毎年4月第1日曜日に演じられる
43	"	西大須賀の神楽	西 須 賀	西大須賀神楽 保存会	平 8. 12. 25		毎年4月15日・16日前の土・日曜日に八幡神社、耀窟 神社で演じられる
44	"	伊 能 歌 舞 伎	伊 能	伊能歌舞伎保存会	平14. 2. 5		毎年4月17日以降の日曜日に大須賀大神で演じられる
45	史 跡	国学者鈴木雅之の墓	南羽鳥	個 人	昭44. 11. 3	1基	鈴木家累代の墓地内
46	"	式内社麻賀多神社	台 方 船 形	麻 賀 多 神 社	昭44. 11. 3	2社	台方社、船形社2社
47	"	利 生 塔 礎 石 群	吉 岡	大 慈 恩 寺	昭51. 11. 11	一括	元禄16年(1703) 再建の利生塔礎石群
48	"	経 文 塚	前 林	個 人	昭53. 12. 21	1基	享保20年(1735) の碑文
49	"	寺 台 河 岸 跡	寺 台	個 人	昭61. 11. 3		江戸時代、成田水運の要地
50	"	奈 土 貝 塚	奈 土	個 人	平 2. 3. 9		ヤマトシジミ主体の縄文時代晩期の地点貝塚
51	天然記念物	来迎寺の大カヤ	松 崎	来 迎 寺	昭46. 11. 3	1樹	目通り幹回り約4メートル
52	"	押 畑 の 大 シ イ	押 畑	個 人	昭46. 11. 3	1樹	" 約9メートル
53	"	久 米 の 大 シ イ	久 米	個 人	昭47. 11. 3	1樹	" 約5メートル
54	"	新勝寺の大ケヤキ	成 田	新 勝 寺	昭47. 11. 3	1樹	" 約6メートル
55	"	水 神 の 森	北須賀	麻 賀 多 神 社	昭58. 11. 3		松の木16本の森
56	"	東光寺のイヌマキ	青 山	東 光 寺	昭59. 6. 14	1樹	目通り幹回り約4メートル
57	"	赤 荻 の 大 エ ノ キ	赤 荻	成 田 市	平23. 3. 1	1樹	" 約4.3メートル
58	名 勝	夫婦松と芭蕉句碑	滑 川	龍 正 院	昭62. 4. 21		句碑に寛政5年(1793) 銘

記録選択

番号	種別	名 称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備 考
1	無形民俗文化財	成 田 の お どり 花 見	成 田	成田おどり花見 保存会	昭53. 1. 31		国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり
2	"	奈 土 の オ ビ シ ャ	奈 土	奈 土 5 区 ・ 6 区	平 4. 2. 28		県記録選択 毎年2月13日後の土曜日か日曜日に実施

平成29年度 公民館利用状況

単位：人

公民館名	開館日数	主催事業	行政関係	サークル関係	その他団体	その他利用	図書	合計
中央公民館	326	10,888	18,627	57,556	485	6,548	-	94,104
公津公民館	293	872	3,242	10,592	448	0	673	15,827
久住公民館		60	2,121	3,158	0	0	1,178	6,517
橋賀台公民館		108	1,062	10,652	0	80	1,233	13,135
玉造公民館		723	5,119	16,935	257	13	3,978	27,025
豊住公民館		263	998	2,452	160	0	410	4,283
成田公民館		36	4,744	6,714	21	4	10,560	22,079
八生公民館		86	2,243	6,917	6	0	220	9,472
中郷公民館		405	1,900	6,223	0	0	387	8,915
加良部公民館		0	1,921	15,538	0	0	642	18,101
遠山公民館		69	1,543	7,781	253	6	708	10,360
下総公民館		388	6,224	10,919	285	209	1,531	19,556
大栄公民館		228	3,907	7,776	0	509	2,711	15,131
合計			14,126	53,651	163,213	1,915	7,369	24,231

平成29年度 図書館資料点数及び利用状況

館名	資料点数(平成30年3月31日現在)						資料貸出利用者数及び貸出点数				
	図書(冊)		雑誌 (冊)	A V (点)	録音 図書 備品等 (点)	合計	開館日数 (日)	利用者数 (人)	一日平均 (人)	貸出点数 (点)	一日平均 (点)
	一般書	児童書									
本館	490,931	197,423	46,870	13,206	732	749,162	289	222,610	770	853,721	2,954
公津の杜分館	86,734	26,352	1,944	0	6	115,036	289	77,450	268	296,406	1,026
公津公民館図書室	3,218	3,493	92	0	0	6,803	274	673	2	1,771	6
久住公民館図書室	2,067	2,507	89	0	0	4,663	274	1,178	4	4,241	15
橋賀台公民館図書室	3,677	3,008	102	0	0	6,787	274	1,233	5	3,284	12
玉造公民館図書室	4,523	4,019	135	0	0	8,677	274	3,978	15	10,736	39
豊住公民館図書室	2,013	2,319	55	0	0	4,387	274	410	1	1,260	5
成田公民館図書室	31,951	12,488	540	0	0	44,979	274	10,560	39	32,241	118
加良部公民館図書室	4,232	3,988	88	0	0	8,308	274	642	2	1,699	6
中郷公民館図書室	2,647	3,666	55	0	0	6,368	274	387	1	1,024	4
遠山公民館図書室	3,614	3,830	95	0	0	7,539	274	708	3	2,684	10
八生公民館図書室	3,028	2,728	52	0	0	5,808	274	220	1	617	2
美郷台地区会館図書室	3,100	3,690	258	0	0	7,048	274	2,879	11	10,246	37
三里塚コミュニティセンター図書室	5,227	4,776	358	0	0	10,361	287	6,534	23	23,572	82
下総公民館図書室	5,177	3,111	76	0	0	8,364	274	1,531	6	5,668	21
大栄公民館図書室	6,057	4,594	115	0	0	10,766	274	2,711	10	11,315	41
図書宅配便	—	—	—	—	—	—	—	14	—	41	—
※	郵送	—	—	—	—	—	—	102	—	155	—
	宅配	—	—	—	—	—	—	15	—	60	—
合計	658,196	281,992	50,924	13,206	738	1,005,056	—	333,835	—	1,260,741	—

※障がい者サービス

市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園

◎大学

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
国際医療福祉大学 成田キャンパス	公津の杜4丁目3番地	20-7701

◎高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
県立成田西陵高等学校	松崎20番地	26-8111
県立成田国際高等学校	加良部3丁目16番地	27-2610
県立成田北高等学校	玉造5丁目1番地	27-3411
県立下総高等学校	名古屋247番地	96-1161
私立成田高等学校	成田27番地	22-2131

◎私立小中学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
成田高等学校附属小学校	田町10番地	23-1628
成田高等学校附属中学校	成田27番地	22-2131

◎私立幼稚園

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
成田幼稚園	上町633番地2	22-0059
三里塚幼稚園	三里塚御料1番地674	35-0139
はぼたん幼稚園	加良部1丁目11番地	28-1234
聖徳大学附属成田幼稚園	中台3丁目8番地	26-3371
くすのき幼稚園	船形828番地	26-6688
はしが台幼稚園	橋賀台3丁目5番地	26-5661
はくと幼稚園	吾妻3丁目51番地	26-2331
玉造幼稚園	玉造1丁目3番地1	28-3131
公津の杜幼稚園	公津の杜4丁目7番地1	27-6699

平成30年度 なりたの教育
発行 成田市教育委員会
編集 教育部教育総務課
〒286-8585
成田市花崎町760番地
電話 0476-20-1580
発行日 平成30年10月
登録番号 成教総18-022



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

本なりたの教育は、再生紙を使用しています。